

# 平成19年度 東北地方整備局事業概要

～『強く美しい東北』を目指して～

平成19年 3月30日  
東北地方整備局

## 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

(港湾空港関係以外) TEL 022-225-2171 (代)

(港湾空港関係) TEL 022-716-0005 (ダイヤルイン)

総括：企画部 企画課長

かわむら  
河村 英知 (内線3151)  
携帯 090-3367-0320

都市・住宅  
公園関係：建政部 都市・住宅整備課長

いわさき  
岩崎 宏和 (内線6161)  
携帯 090-7939-6118

河川関係：河川部 河川計画課長

ふるいち  
古市 秀徳 (内線3611)  
携帯 090-3125-0988

道路関係：道路部 道路計画第一課長

まつもと  
松本 健 (内線4211)  
携帯 090-3123-6948

港湾空港関係：港湾空港部 港湾計画課長

まさおか  
正岡 孝 (内線6311)  
携帯 090-4315-6429

営繕関係：営繕部 計画課長

ひらた  
平田 哲人 (内線5151)  
携帯 090-3121-4665

用地関係：用地部 用地第一課長

わたせ  
渡瀬 友博 (内線4751)

会計関係：総務部 会計課長

おおぞね  
大曾根 城次 (内線2411)  
携帯 090-5180-0015

平成19年度  
東北地方整備局事業概要  
～『強く美しい東北』を目指して～

目 次

1. 平成19年度事業の基本方針	1
2. 平成19年度 予算概要	3
3. 平成19年度主要事業の紹介	5
4. 平成19年度の重点事項	1 2
5. 地域との対話の重視	3 3
6. 効率的な事業執行	3 4
7. 事業評価の実施	3 5
8. 県別の主要事業一覧	3 7
9. 目標達成のための指標一覧	4 3

# 1. 平成19年度の基本方針

東北地方整備局では、平成16年3月に策定した『社会資本整備に係る東北地方の将来の姿』に基づき「強く美しい東北」の実現を目指し、社会資本整備を進めます。

また、平成19年度は平成15年10月に閣議決定された「社会資本整備重点計画」の最終年でもあるため、目標達成に向けた取り組みを重点的に展開します。

## 『社会資本整備に係る東北地方の将来の姿～「強く美しい東北」を目指して～』 (整備目標と達成度)

### 安全で安心できる地域づくり

#### (1) あらゆる災害に強い 安全な地域づくり

【整備前】



【整備後】

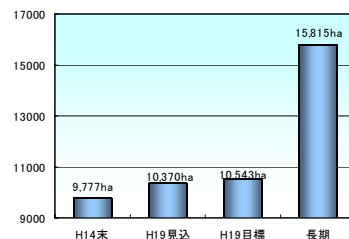


海岸保全施設実施例

#### 災害を防ぎ、暮らしに安心をもたらす

##### 代表的な指標

- 津波・高潮による浸水被害防護  
区域の拡大(国土交通省分)  
9,777ha—(H14)  
→10,370ha(H19見込)  
→10,543ha(H19目標)  
→15,815ha(10～15年後)



#### (2) 雪に強く、 安心で快適な地域づくり

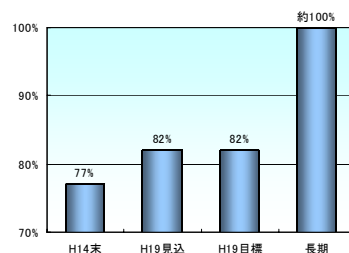


消融雪施設の整備

#### 冬も安全で快適に暮らせる地域を広げる

##### 代表的な指標

- 冬期歩行空間確保率  
77%(H14)→82%(H19見込)  
→82%(H19目標)→約100%(長期)



#### (3) 高齢社会等に対応した安心して 生活できる地域づくり

【整備前】



【整備後】

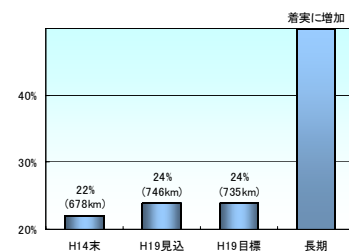


歩行空間の整備・バリアフリー化

#### 誰もが安心して暮らすことができる地域を広げる

##### 代表的な指標

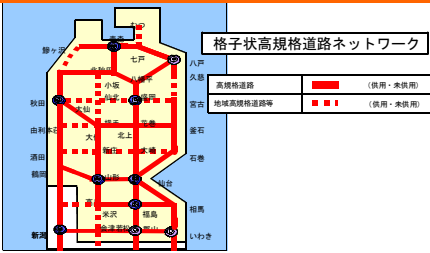
- 市街地の歩道の広幅員化率  
22%(678km)(H14)  
→24%(746km)(H19見込)  
→24%(735km)(H19目標)  
→着実に増加(長期)



# 強い東北の創造

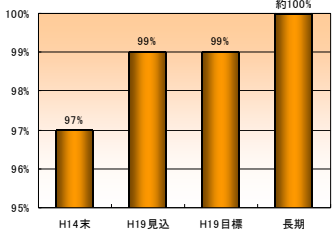
## (4) 「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

地域間の所要時間が短縮し、  
交流と連携を活性化



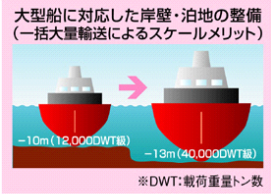
**代表的な指標**

- 高速道路まで1時間で行ける人口の割合
- 97% (H14) → 99% (H19見込)
- 99% (H19目標) → 約100% (長期)



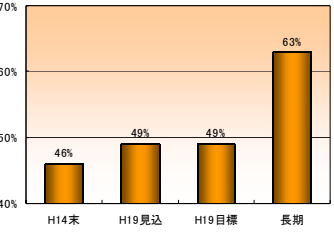
## (5) グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備

国際貨物の輸送を効率的に行う



**代表的な指標**

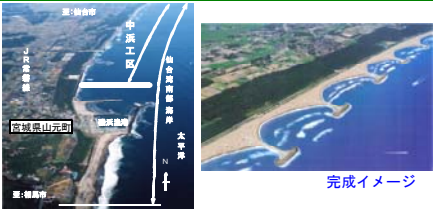
- 40,000DWT以上の船舶が貨物を満載して着岸できる岸壁の充足率
- 46% (H14) → 49% (H19見込)
- 49% (H19目標) → 63% (10~15年後)



# 美しい東北の実現

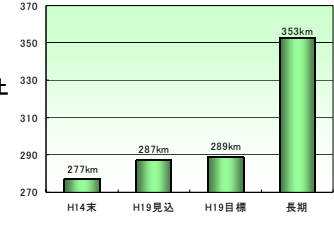
## (6) 東北らしい自然環境との共生

東北の豊かな自然に親しむことができる地域を広げる



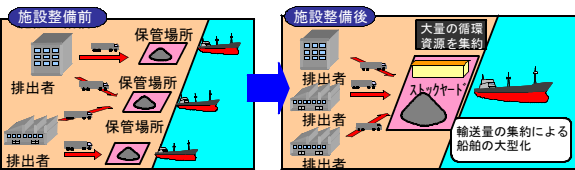
**代表的な指標**

- 海岸の汀線防護による侵食進行の防止 (国土交通省分)
- 277km (H14) → 287km (H19見込)
- 289km (H19目標) → 353km (10~15年後)



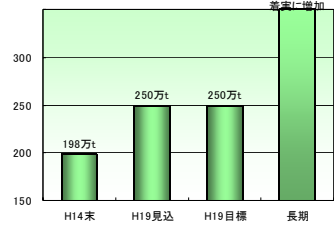
## (7) 循環型社会の構築

環境にやさしいリサイクル社会を推進する



**代表的な指標**

- 東北地方の重要港湾における廃棄物・リサイクル資源取扱量
- 198万トン (H14) → 250万t (H19見込)
- 概ね250万トン (H19目標)
- 着実に増加 (10~15年後)



# 魅力ある都市づくり

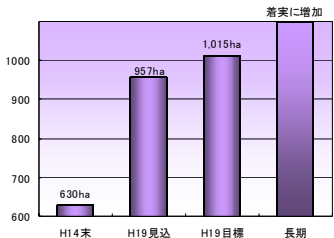
## (8) 「コンパクトシティ」の推進

都市交通の改善や豊かな都市空間の形成を図る



**代表的な指標**

- 区画整理事業により良好な宅地等が形成される面積 (DID内)
- 630ha (H14) → 957ha (H19見込)
- 1,015ha (H19)
- 着実に整備 (10~15年後)



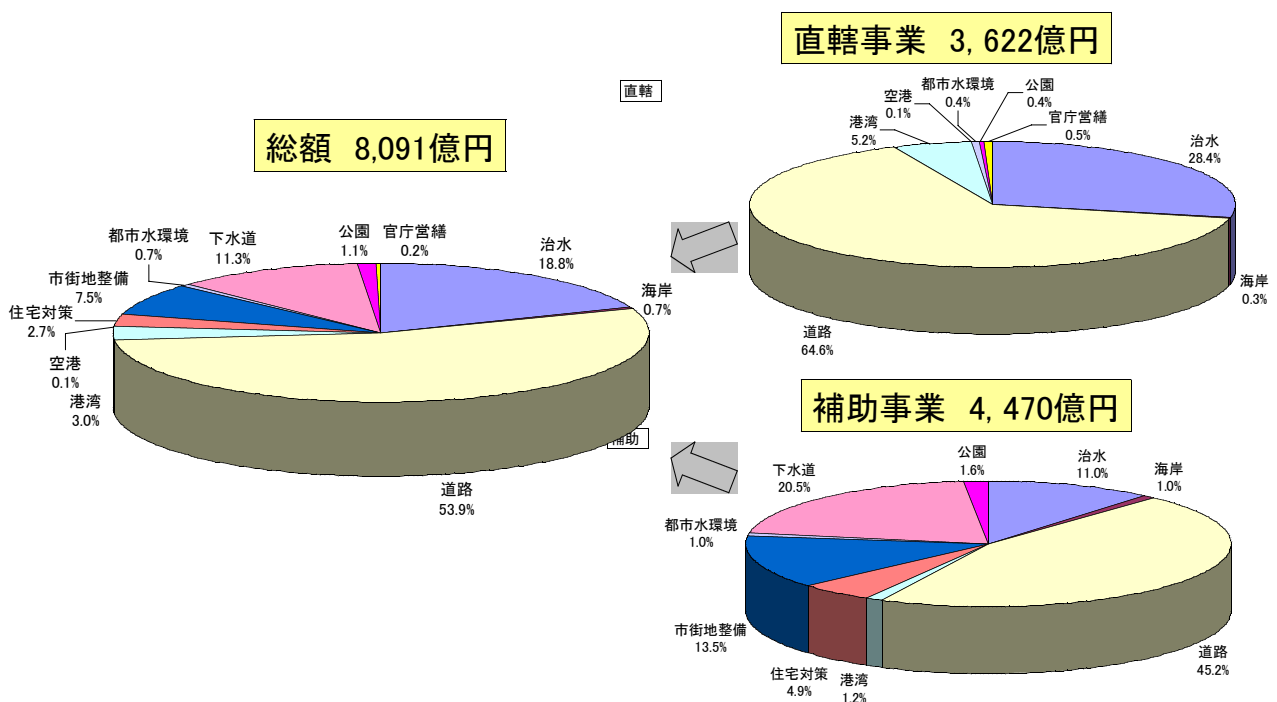
## 2. 平成19年度予算概要

### 平成19年度事業費

総額 8,091 億円

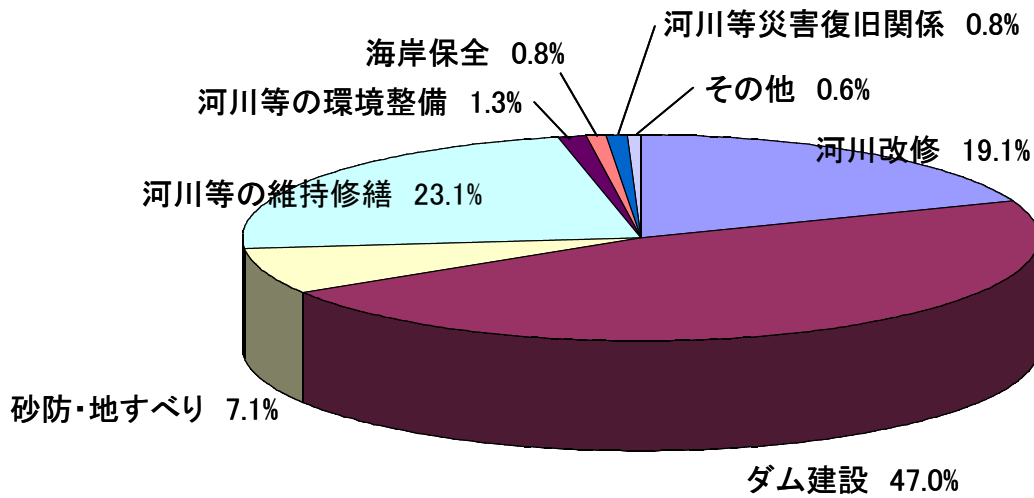
(単位:百万円)

	直轄	補助	計	H18比
治水	102,903	49,192	152,095	0.938
海岸	1,074	4,654	5,728	0.902
道路	233,880	201,942	435,822	0.953
港湾	18,841	5,160	24,001	0.953
空港	518		518	0.922
住宅対策		22,024	22,024	1.070
市街地整備		60,480	60,480	1.134
都市水環境	1,429	4,569	5,998	1.429
下水道		91,591	91,591	0.864
公園	1,537	7,354	8,891	0.866
官庁営繕	1,985		1,985	1.123
計	362,167	446,966	809,133	0.954

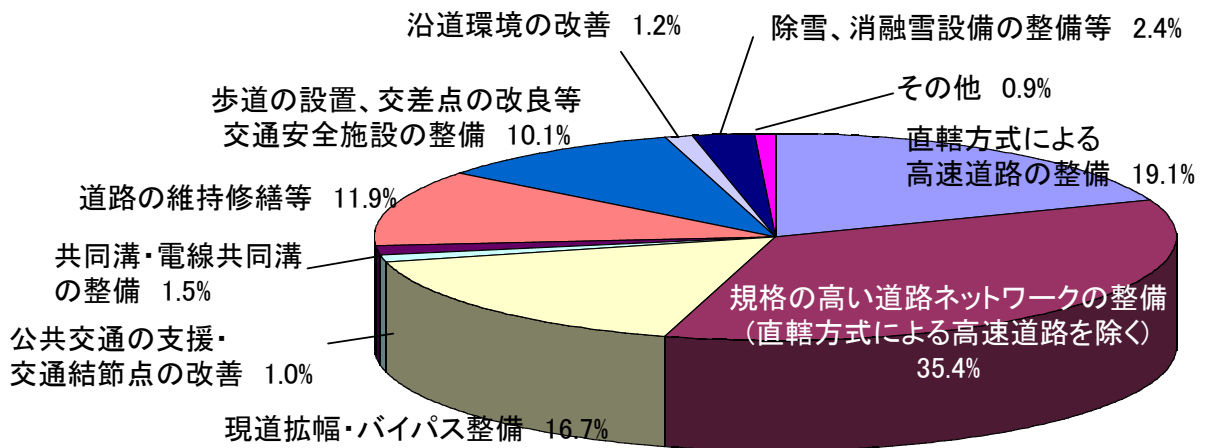


## 直轄事業費用途別内訳

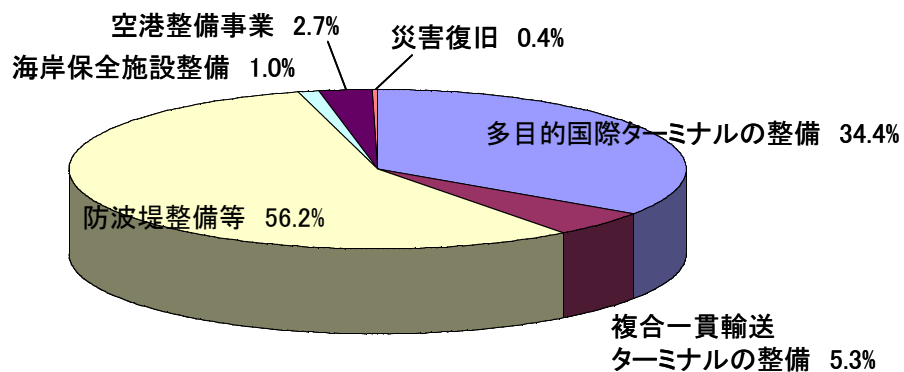
### 治水関係事業(直轄) 1,052億円



### 道路事業(直轄) 2,339億円



### 港湾空港関係事業(直轄) 195億円



### 3. 平成19年度 主要事業の紹介

#### 〔安全で安心できる地域づくり〕

#### 【あらゆる災害に強い安全な地域づくり】

##### 《新規》

河川 直轄  
○堤防の決壊による氾濫から市街地を守るため“阿武隈川上流郡山地区堤防質的整備”  
(福島県郡山市)に着手します。

河川 直轄  
○洪水防御施設としての機能を改善し、市街地を洪水から守る“雄物川下流割山地区新屋水  
門整備”(秋田県秋田市)に着手します。

河川 補助  
○土砂災害から地域住民の生命・財産等を守るため“蔦川地すべり対策事業”(青森県十和田  
市)及び“湯本急傾斜地崩壊対策事業”(宮城県大崎市)に着手します。

道路 直轄  
○都市防災機能の向上を図る一般国道45号“仙台東部共同溝[原町]”(仙台市)の整備に  
着手します。

道路 直轄  
○大規模災害時等の緊急輸送道路に指定されている、一般国道45号“古川橋”(宮城県大崎市)及び一  
般国道6号“菅波大橋”(福島県いわき市)他50橋において、震災対策に着手し「橋梁  
の耐震補強3箇年プログラム」を完了させます。

河川 直轄  
○樋管函体の劣化が原因となり、堤防兼用道路の陥没や堤体の弱体化を防ぐため、阿武隈川上流の“小  
口径樋管の対策”に着手します。

河川 直轄  
○地すべり災害から人命や財産、自動車専用道路等を守るため、“月山地区直轄地すべり対  
策事業調査”(山形県西川町～鶴岡市)に着手します。

##### 《完成・供用》

河川 直轄  
○石巻市など旧北上川沿川の浸水被害を大幅に軽減する“北上川分流堰地区改修事業”(宮  
城県登米市)の完成を図ります。

河川 補助

○平成14年7月の台風6号で甚大な被害を被り、先に完成した直轄事業と連携して緊急的に実施している“**砂鉄川河川激甚災害対策特別緊急事業**”（岩手県一関市）の**完成**を図ります。

河川 補助

○洪水調節、渇水時の正常な流水機能の確保、かんがい、水道用水を目的とした“**綱木川ダム**”（山形県米沢市）及び“**木戸ダム**”（福島県双葉郡楡葉町）の**完成**を図ります。

河川 直轄

○土砂災害から、人命や財産、重要交通網を保全する“**六枚沢川第二砂防えん堤**”（秋田県仙北市及び“**トノ沢第二砂防えん堤**”（山形県西村山郡西川町）の**完成**を図ります。

河川 直轄

○侵食が進行している海岸の汀線を防護し、高潮・高波による浸水を防止する仙台湾南部海岸“**海岸保全施設整備事業 S2号ヘッドランド**”（宮城県山元町）の**完成**を図ります。

道路 直轄

○都市の防災機能向上を図る一般国道45号“**仙台東部共同溝[花京院]**”（仙台市）の**完成**を図ります。

道路 直轄

○災害発生時のライフラインの確保を図る、一般国道4号“**凶景地区電線共同溝**”（福島県郡山市）の**完成**を図ります。

港湾 直轄

○大規模震災時における緊急支援物資の輸送ルートを確保し、防災拠点として機能する、“**仙台塩釜港中野地区岸壁改良**”（仙台市）の**完成**を図ります。

港湾 直轄

○大規模地震時においても、物流の混乱を回避し、一定の物流機能を確保する“**青森港沖館地区複合一貫輸送ターミナル改良**”（青森県青森市）の**完成**を図ります。

河川 直轄

## 《 継 続 》

○洪水調節、渇水時の正常な流水機能の確保、かんがい、水道用水、発電を目的とした“**胆沢ダム**”（岩手県奥州市）・“**森吉山ダム**”（秋田県北秋田市）・“**長井ダム**”（山形県長井市）の事業を**推進**します。



都市・住宅 補助

○地震等の災害時において、防災拠点施設に指定されている“仙台市役所”（仙台市）の**耐震改修を推進**します。

港湾 直轄

○津波による甚大な被害を軽減する、“久慈港湾口地区防波堤”（岩手県久慈市）の整備を**推進**します。

港湾 直轄

○沖合で津波を直接観測し、得られた情報を活用することにより、津波防災力の向上を図る“GPS波浪計を活用した沖合波浪（津波）観測網”の整備を**推進**します。

## 【雪に強く、安心で快適な地域づくり】

### 《新 規》

河川 直轄

○冬期間の除雪作業に必要な流雪溝の水量を確保する、“岩木川鶴田地区”（青森県北津軽郡鶴田町）、“雄物川上流湯沢地区”（秋田県湯沢市）、“最上川中流岩ヶ袋地区”（山形県北村山郡大石田町）の**消流雪用水導入事業**に着手します。

道路 直轄

○冬期における通行車両の安全を確保するため、一般国道7号“西碓ヶ関地区凍雪害防止”（青森県平川市）及び一般国道13号“峰吉川地区防雪対策”（秋田県大仙市）に**着手**します。

### 《完成・供用》

道路 補助

○大雪による雪崩災害や大雨、融雪による落石災害を防止し安全な通行の確保を図る一般国道458号“**雪寒道路事業 日陰倉工区**”（山形県最上郡大蔵村）の**完成**を図ります。

### 《継 続》

都市・住宅 補助

○下水道の熱エネルギー（クリーンエネルギー）を利用した融雪施設を整備する“**青森市公共下水道事業**”（青森県青森市）を**推進**します。

## 【高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり】

### 《新規》

道路 直轄

○歩道が未整備のため歩行者が安全に通行することが困難な、一般国道7号“<sup>しもはま</sup>下浜道路”（秋田県秋田市）の事業に**着手**します。

### 《完成・供用》

都市・住宅 補助

○高齢者の安全で安心な居住空間の確保を目指す、“<sup>つきがおか</sup>月が丘地区住宅市街地総合整備事業”（岩手県盛岡市）の**完成**を図ります。

道路 直轄

○全ての人が安全で快適に利用できる歩行空間を形成する、一般国道4号“<sup>すえひろ</sup>末広地下横断歩道整備事業”（宮城県岩沼市）の**完成**を図ります。

道路 直轄

○交通事故の削減を図る、一般国道13号“<sup>ざおうなりさわ</sup>蔵王成沢交差点改良”（山形県山形市）の**完成**を図ります。

### 《継続》

道路 直轄

○トンネル内における歩行者の安全を確保する、一般国道7号“<sup>こぼと</sup>小波渡自転車歩行者道整備事業”（山形県山形市）を**推進**します。

## 〔強い東北の創造〕

### 【「縦」、「横」のネットワークによる 広域的な交流・連携の推進】

### 《新規》

道路 直轄

○交通の安全性や信頼性を確保し、地域間の交流・連携を促進する一般国道101号“<sup>あじがさわ</sup>鱒ヶ沢道路”（青森県つがる市～西津軽郡鱒ヶ沢町）、一般国道45号“<sup>よしはま</sup>吉浜道路”（岩手県大船渡市）の事業に**着手**するとともに、一般国道7号“<sup>たかのすおおだて</sup>鷹巣大館道路”（秋田県北秋田市～大館市）について事業を**延伸**します。

道路 補助

○地域間の交流・連携を促進する一般国道115号“<sup>りょうぜん</sup>霊山道路”（福島県伊達市）、一般国道121号“<sup>ゆのかみ</sup>湯野上バイパス”（福島県南会津郡下郷町）の事業に**着手**します。

## 《完成・供用》

道路 直轄

- 日本海沿岸部の地域間交流と交通混雑の解消を図る、日本海沿岸東北自動車道“**本荘～岩城**”  
(秋田県由利本荘市)・一般国道7号“**琴丘能代道路**”<sup>ことおかのしろ</sup>(秋田県山本郡三種町～能代市)の**全線**  
**暫定供用**および、一般国道7号“**仁賀保本荘道路**”<sup>にかほほんじょう</sup>(秋田県にかほ市～由利本荘市)の**部**  
**分暫定供用**を図ります。

道路 直轄

- 交通の安全性や信頼性を確保し、地域間の交流・連携を促進する一般国道13号“**主寝坂道路**”<sup>しゅねざか</sup>の  
(山形県最上郡金山町～真室川町)**全線暫定供用**を図ります。

道路 直轄

- 高規格幹線道路・地域高規格道路等の格子状骨格道路ネットワークの整備を進め、一般国道13号  
“**湯沢横手道路**”<sup>ゆざわよこて</sup>(秋田県湯沢市～横手市)、一般国道45号“**桃生登米道路**”<sup>も の う と よ ま</sup>(宮城県  
石巻市～登米市)、一般国道101号“**浪岡五所川原道路**”<sup>なみおかごしよがわら</sup>(青森県青森市～五所川原市)の  
**全線暫定供用**及び一般国道113号“**赤湯バイパス**”<sup>あかゆ</sup>(山形県南陽市～東置賜郡高島町)  
の**部分暫定供用**を図り、都市と中山間地域の交流・連携の強化と広域的な生活圏の形成を支援  
します。

道路 補助

- 県都盛岡市と沿岸北部地域のアクセス向上を図る、一般国道455号“**早坂道路**”<sup>はやさか</sup>(岩手県盛岡市～  
岩泉町)の**全線供用**を図ります。

## 【グローバル化に対応した 「自立した経済システム」を支える基盤整備】

### 《完成・供用》

港湾 直轄

- 海上輸送の安全性と信頼性を確保し、産業競争力を強化する“**能代港大森地区航路**”<sup>おおもり こうろ</sup>(秋田県  
能代市)の**完成**を図ります。

### 《継 続》

港湾 直轄

- 港内の静穏度向上と航行船舶の安全性の向上を図る“**秋田港外港地区防波堤**”<sup>がいこう</sup>(秋田県秋田  
市)の整備を**推進**します。

# 〔美しい東北の実現〕

## 【東北らしい自然環境との共生】

### 《新規》

河川 直轄

ほとけぬま

○誰でも快適で安全に親水空間を利用でき、野鳥観察や自然学習も気軽に行える、“高瀬川<sup>ほとけぬま</sup>仏沼地区”（青森県三沢市）、“阿武隈川<sup>あらかわ</sup>荒川・福島地区”（福島県福島市）等全11事業の総合水系環境整備に着手します。

### 《完成・供用》

河川 道路 都市・住宅

直轄 補助

○東北の自然・歴史・文化などを実感できる、一般国道4号“平泉<sup>ひらいずみ</sup>バイパス”（北上川平泉堤防と合併）”（岩手県平泉町）を全線暫定供用させ、都市計画道路“毛越寺<sup>もうつうじ</sup>線”（岩手県平泉町）の供用を図り、平成20年の世界遺産登録に向けた支援を実施します。

都市・住宅 直轄

もりのこはん

○広大な自然環境の中で健康づくりや体験活動を行うことが出来る、“国営みちのく杜の湖畔公園（Ⅱ期地区草原エリア）”（宮城県柴田郡川崎町）の完成を図ります。

### 《継続》

港湾 補助

○生態系や自然景観等周辺の自然環境に配慮した“大湊<sup>おおみなと</sup>港海岸侵食対策”の（青森県むつ市）事業を推進します。

## 【循環型社会の構築】

### 《継続》

都市・住宅 補助

○下水汚泥を燃料として利用価値を高め、更なるリサイクルの促進を図る“阿武隈川<sup>あぶくま</sup>下流域下水道事業”（宮城県岩沼市）にて下水汚泥燃料化に新たに着手します。

都市・住宅 補助

にしなかだ

○公営住宅の改善において、既存ストックを有効に活用した“仙台市<sup>にしなかだ</sup>営西中田住宅ストック総合改善事業”（仙台市）を推進します。

港湾 補助

ほん

○海水を利用した消融雪施設により、地球に優しいクリーンエネルギーの活用を推進する、“青森<sup>ほん</sup>港本港地区橋梁改良”（青森県青森市）の整備を推進します。

# 〔 魅力ある都市づくり 〕

## 【「コンパクトシティ」の推進】

### 《新 規》

道路 直轄

- 沿道環境の改善と交通混雑の解消を図る、一般国道4号“<sup>もりおかきた</sup>盛岡北道路”（岩手県盛岡市）に着手するとともに、一般国道7号“<sup>あおもりにし</sup>青森西バイパス”（青森県青森市）の事業を延伸します。

### 《完成・供用》

道路 直轄

- 交通渋滞の解消・緩和と環境の改善を図り、総合的な都市交通対策として一般国道45号“八戸バイパス”（青森県八戸市）、一般国道13号“大曲バイパス”（秋田県仙北市）の全線供用（4車線化）及び、一般国道4号“花巻東バイパス”（岩手県花巻市）、一般国道6号“相馬バイパス”（福島県相馬市～相馬郡新地町）の全線供用（2車線）を図ります。

都市・住宅 補助

- 交通渋滞の解消・緩和と環境の改善を図る、都市計画道路“秋田中央道路”（秋田県秋田市）の全線供用を図ります。

営繕 直轄

- 老朽化した施設の建て替えを行い、地域の特色を生かした良好な都市空間の形成を図る“<sup>やまがたけんけい</sup>山形県警察学校生徒寮・炊食浴室棟”（山形県天童市）の完成を図ります。

### 《継 続》

都市・住宅 補助

- 鉄道により分断された市街地を一体化し、交通の円滑化・渋滞対策等を図り、快適で魅力ある都市生活空間の形成を図る“多賀城連続立体交差事業”（宮城県多賀城市）を推進します。

都市・住宅 交付金

- “新幹線新青森駅・青森駅周辺地区”（青森県青森市）・“いわき駅前地区”（福島県いわき市）において、交通結節点機能の強化や広域的な交流拠点の形成、中心市街地の活性化を促すため、まちづくり交付金による事業を推進します。

---

## 4. 平成19年度の重点事項

---

# <安全で安心できる地域づくり>

## 重点事項：あらゆる災害に強い安全な地域づくり

『目標①』河川氾濫や高潮、土砂災害、火山活動などの災害を防ぐため、防災施設の整備等を行います。

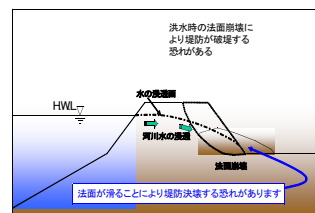
・河川氾濫から地域を守るため、河川改修・ダム等整備を一体的に推進します。

直轄：【新規】阿武隈川上流郡山地区堤防質的整備	320百万円
【新規】雄物川下流割山地区新屋水門整備事業	33百万円
【完成】北上川分流堰地区改修事業	537百万円
【継続】津軽ダム建設事業	3,720百万円
【継続】胆沢ダム建設事業	17,844百万円
【継続】森吉山ダム建設事業	12,971百万円
【継続】長井ダム建設事業	11,330百万円
補助：【完成】砂鉄川 河川激甚災害対策特別緊急事業(岩手県)	480百万円
【完成】綱木川ダム建設事業(山形県)	2,980百万円
【完成】木戸ダム建設事業(福島県)	2,969百万円

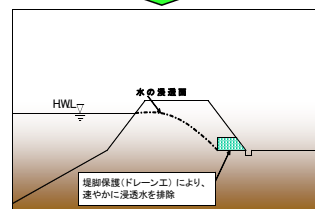
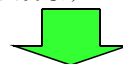
### ●阿武隈川上流 郡山地区堤防質的整備



▲堤防の質的整備によって、市街地や工業団地を洪水から守ります



▲漏水により堤防が決壊する可能性があります

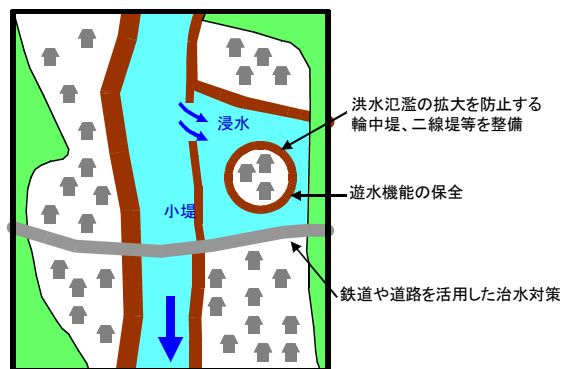


▲漏水を速やかに除去し、堤防の弱体化を防ぎます

### ●連続堤防によらない治水対策(北上川上流部及び最上川中流部で検討)



▲集落が点在している地区



▲地域の特徴や実情を考慮し流域が一体となった治水対策を実施

早期の治水効果発現を目指し、量的・質的堤防の整備を効率的に推進します。

●雄物川下流割山地区 新屋水門整備事業



▲背後に住宅街や工場地帯のある新屋水門が転倒したら甚大な被害の発生が予想されます

▶老朽化のため補修を繰り返してきた新屋水門



▶水門本体の老朽化状況

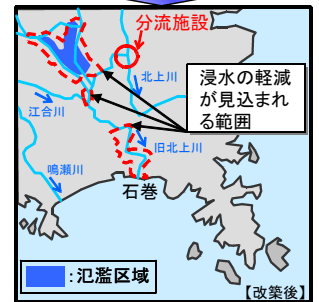


●北上川分流堰地区改修事業



▲洪水時における旧北上川への分派量を0(m<sup>3</sup>/s)にし、沿川約13,000戸の住宅を浸水被害から守ります。

▼浸水区域図



河川施設の整備により浸水被害を軽減させ、地域の安全を確保します。

●胆沢ダム建設事業



▲平成19年度は、ダム本体工事及び付替国道・市道工事を実施します。



▲ダム完成予想図



▲平成14年7月洪水の状況。ダムによって、洪水による被害の軽減が図られます。

洪水調節、流水機能の確保、かんがい用水の補給、水道用水の供給、および発電を行います。



・土石災害から人々の生命や財産を守り、重要交通網等ライフラインを確保するため、砂防堰堤等の土砂流出防止対策を推進します。

- 直轄:【完成】八幡平山系直轄火山砂防事業 六枚沢川第二砂防えん堤 169百万円
- 【完成】最上川水系直轄砂防事業 トノ沢第二砂防えん堤 196百万円
- 補助:【新規】<sup>つたがわ</sup>鳶川地すべり対策事業(青森県) 72百万円
- 【新規】<sup>ゆもと</sup>湯本急傾斜地崩壊対策事業(宮城県) 50百万円

●八幡平山系直轄火山砂防事業 六枚沢川第二砂防えん堤



▲えん堤の整備により市街地や重要交通網の土砂災害を軽減



▲完成イメージ



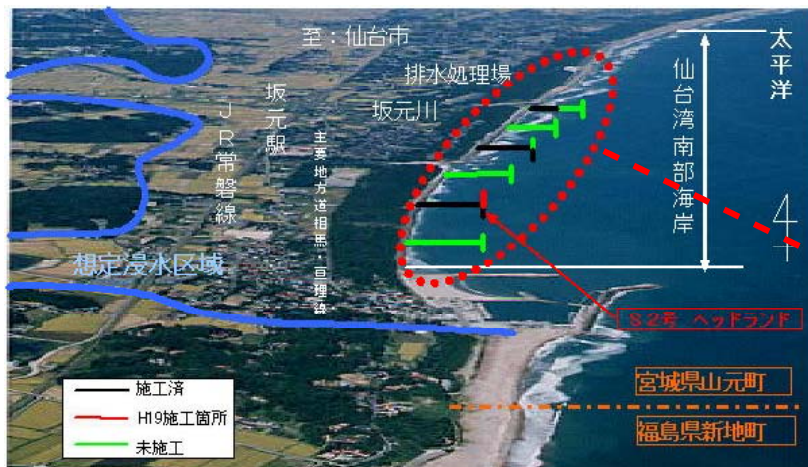
▲昭和35年の被害状況

砂防えん堤により市街地や重要交通網(国道46号、秋田新幹線)を守ります。

・侵食が進行している海岸において国土保全を図るとともに人家・財産等を保護し、汀線を守るため、護岸・人工浜・離岸堤等の整備を推進します。

- 直轄:【完成】仙台湾南部海岸 海岸保全施設整備事業 S2号ヘッドランド 789百万円

●仙台湾南部海岸 海岸保全施設整備事業



▲平成19年度は、S2号ヘッドランドのヘッド部北半分(L=75m)を実施し、ヘッドランドの完成を図ります。



▲急激に進む海岸侵食によって海岸保全施設が被災(H3)



高潮・高波による浸水被害から背後家屋等を守るとともに、失われた砂浜を復元し、海岸を保全します。

『目標②』都市災害防止の観点から、各種ライフラインの共同溝への收容や防災上危険な市街地の改善などを推進します。

・都市災害防止等の観点から、電力・電話・ガス・上下水道等の各種公益物件を整備統合して収用する共同溝及び電線共同溝の整備を推進します。

直轄:【新規】一般国道45号	仙台東部共同溝[原町]	345百万円
【完成】一般国道45号	仙台東部共同溝[花京院]	137百万円
【完成】一般国道4号	函景地区電線共同溝	445百万円

●一般国道45号 仙台東部共同溝



▲共同溝整備位置図(仙台市宮城野区)



▲地震による電柱の倒壊で、電力・電話等ライフラインが寸断(イメージ)

地中の共同溝内に電力・電話等が収納されるため、地震に強いライフラインが確保されます。

・火災の延焼や緊急車両の通行の妨げ等が懸念される防災上危険な既成市街地において、安全な市街地への整備・改善を図るため、防災拠点施設の耐震化や土地区画整理事業等を推進します。

補助:【継続】住宅・建築物耐震改修等事業 仙台市役所(仙台市)他 599百万円

●住宅・建築物耐震改修等事業 仙台市役所



【耐震補強工事を実施する仙台市役所本庁舎】



地震によりビルが倒壊し、道路が完全に閉鎖(神戸市の例)



建築物の耐震補強例【制震ブレース】設置

防災拠点施設の耐震化を図り、迅速な復旧活動に資するとともに倒壊による道路閉鎖を回避します。

『目標③』大規模地震や津波に備え、土木施設等の耐震化や防災施設の整備を図るとともに、緊急物資輸送が行える安全で信頼性の高い道路網の形成、耐震強化岸壁を備えた港湾の整備等を図ります。

・「橋梁の耐震補強3箇年プログラム」\*に基づき、新たに52橋について地震による落橋防止の設置や橋脚の補強を実施し、全体490橋について耐震補強の完成を図ります。

※橋梁の耐震補強3箇年プログラムとは、昭和55年道路示方書より古い基準で整備した橋梁等で、特に優先的に耐震補強を行う必要のある橋梁等を、国・県等が連携して3箇年(平成17～19年度)で重点的に実施。

直轄:【新規】一般国道 45号	ふるかわ 古川橋震災対策	30百万円
【新規】一般国道 6号	すきなみ 菅波大橋震災対策	230百万円

●一般国道45号 古川橋震災対策



▲大地震に耐え、緊急輸送道路が確保できるよう耐震補強を実施



▲橋梁震災対策イメージ

東北管内の橋梁震災対策実施状況  
(直轄管理区間)

H18年度まで	438橋(89%)
H19年度末(目標)	490橋(100%)

※緊急輸送道路の橋梁耐震補強実施率

災害時における救急・医療、消火活動、被災者への救援物資の輸送ルートが確保されます。

・震災直後における緊急物資輸送や避難スペースを確保する為、耐震強化岸壁の整備や既存施設の耐震化を進めると共に、国内幹線輸送や外貿機能を確保し、経済活動への影響を最小限に抑える観点から、フェリー等の定期航路を就航する岸壁の耐震強化を積極的に推進します。

直轄:【完成】	仙台塩釜港仙台港区	
	中野地区岸壁改良事業(耐震強化)	860百万円
【完成】	青森港沖館地区	
	複合一貫輸送ターミナル改良事業(耐震強化)	470百万円



▲大規模震災時の物流機能の防災拠点となる岸壁の耐震化を推進

災害時における防災拠点イメージ



耐震強化岸壁整備状況(重要港湾)

平成18年度末	7施設(35%)
平成19年度末(予定)	9施設(45%)

震災直後における緊急輸送や避難スペースが確保され、経済活動への影響が最小限に抑えられます。

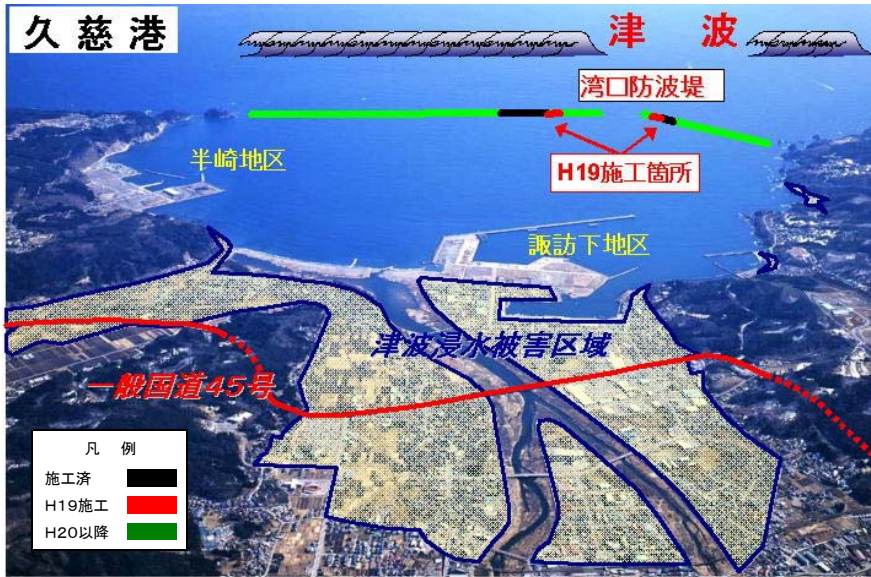
・津波や、高潮から地域を守り、被害の軽減を図るため、湾口防波堤の整備を推進します。

直轄:【継続】久慈港湾口地区防波堤整備事業<sup>わんこう</sup>\*

※本事業は、直轄港湾事業と直轄海岸事業との合併事業で進めています

1,779百万円

津波浸水被害面積の比較  
[明治39年三陸津波(M8.5、  
遡上高11m)を想定]  
防波堤整備前



▲湾口防波堤未整備時の津波浸水区域(明治三陸津波)



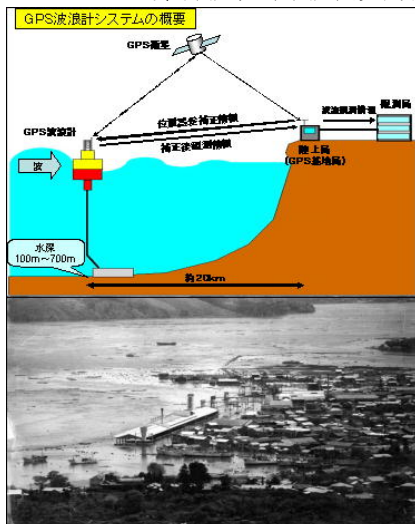
防波堤整備により津波浸水被害面積が大幅(85%)に減少し、背後地域を津波の被害から防護します。

『目標④』災害時に迅速な対応を行えるよう、ITを活用した情報基盤の整備と、地域や関係機関と情報共有を図るなど、危機管理体制の充実を図ります。

・情報インフラの整備を推進し、防災情報のタイムリーな提供を行います。

直轄:【継続】GPS波浪計を活用した  
沖合波浪(津波)観測網の整備

3基設置予定



〈津波被害状況〉S35チリ沖地震津波



▲東北地方配置計画 H22年度まで10基  
平成20年度より運用開始予定

沖合海面の変動を計測し、沿岸に津波が来襲する前に検知することにより住民の避難誘導等の津波防災に貢献します。

# <安全で安心できる地域づくり>

## 重点項目：雪に強く安全で快適な地域づくり

『目標①』雪による暮らしの障害を克服するため、冬期歩行空間確保など冬期バリアフリー\*対策を推進します。

※冬期バリアフリー：積雪によって歩道の幅員が減少したり、凍結によって転倒しやすくなるなどと言った、冬期特有の雪による障害を軽減すること

・冬期間の安全で快適な生活空間を確保するため、消流雪用水導入事業によって必要な流雪水量を確保し、除排雪作業の効率を高めます。

直轄：【新規】岩木川鶴田地区消流雪用水導入事業	55百万円
【新規】雄物川上流湯沢地区消流雪用水導入事業	92百万円
【新規】最上川岩ヶ袋地区消流雪用水導入事業	100百万円

### ●雄物川湯沢地区消流雪用水導入事業



▲市街地に水を流し、住民の除雪作業の軽減を図ります。

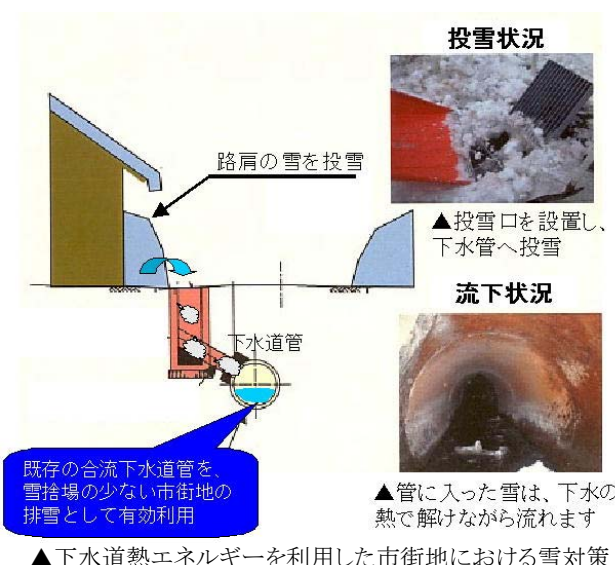


◀歩道の積雪により小中学生が安心して登下校することが出来ない

◀流雪溝整備により、排雪の利便性等などの冬期生活環境の改善が図られる

・下水道の熱エネルギー(クリーンエネルギー)を利用した融雪施設の整備により、除排雪の住民負担の軽減、安全な歩行者空間の確保などを推進します。

補助：【継続】青森市公共下水道事業[機能高度化下水道事業](青森市) 411百万円



既存の合流下水道管を雪捨場の少ない市街地の排雪として有効利用

▲下水道熱エネルギーを利用した市街地における雪対策



歩行スペースが狭く危険な通学路



排雪が容易となり地域住民の協力により、歩行スペースを確保

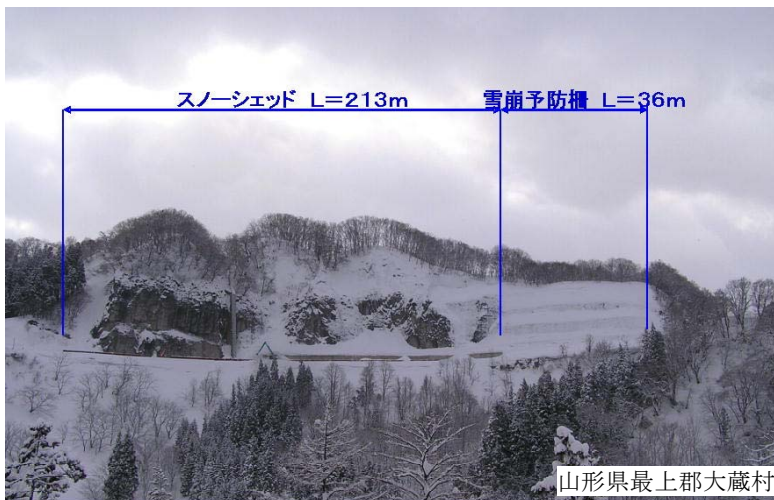
除排雪に係わる労力が軽減され、安全で快適な生活空間が確保されます。

『目標②』地域間の交流・連携を促進するため、豪雪や地吹雪などに対する除排雪の強化等の雪対策を推進します。

・冬期通行不能区間など、冬期における山岳部の交通障害箇所の解消に向けて、地吹雪対策及び雪崩対策を推進します。

補助:【完成】一般国道458号雪寒道路事業 日陰倉工区(山形県)

30百万円



▲H17.12.24 雪崩状況

冬期における山岳部の交通障害を解消します。

・都市部や平地部の冬期道路交通を確保するため、地域の特性に応じた除雪・排雪や地吹雪対策などを推進します。

直轄:【新規】一般国道 7号 西碓ヶ関地区凍雪害防止

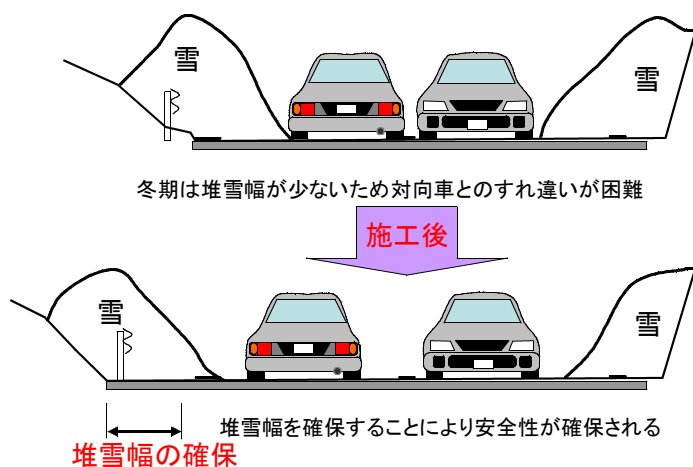
70百万円

【新規】一般国道13号 峰吉川地区防雪対策

60百万円

●西碓ヶ関地区凍雪害防止

堆雪幅確保のイメージ



▲堆雪幅を広く確保することにより車両の安全を確保



▲路肩に雪が積もられ、車両のすれ違いが困難な状況

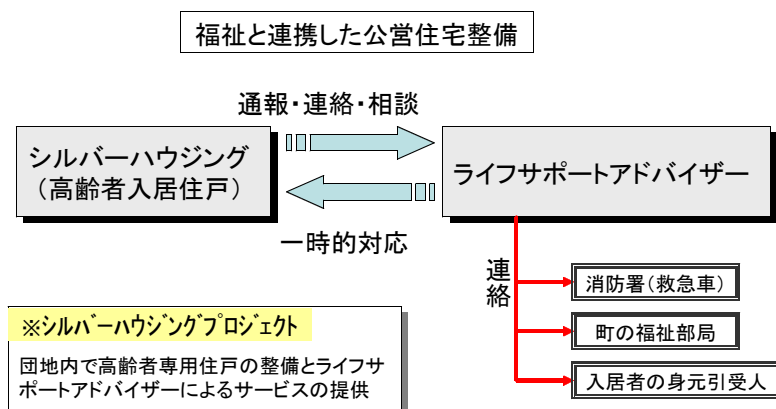
## <安全で安心できる地域づくり>

重点事項：高齢化社会等に対応した  
安心して生活できる地域づくり

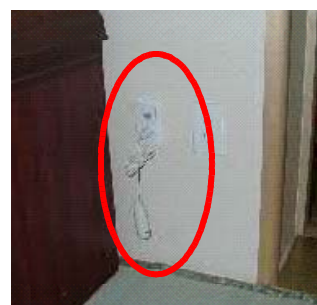
『目標①』誰もが安全・快適に暮らせる生活環境づくりを進めるため、公共空間、住宅・建築物におけるユニバーサルデザインの導入や交通安全対策等を行います。

- ・福祉施策と連携し、地域の高齢者サービス等の拠点となる施設と公営住宅の併設・合併を推進します。

補助：【完成】住宅市街地総合整備事業(月が丘地区)[盛岡市] 160百万円



▲手摺り付きトイレ



▲呼出にぎりボタン



▲1階にディサービスセンターを併設。生活援助員が勤務。  
専用のインターホンが設置され、住民の在・不在も把握ができる  
(岩手県盛岡市)



▲専用インターホン  
緊急通話電話機

・高齢者、車いす、自転車等、すべての利用者の視点に立った安全で利用しやすい歩行空間を確保します。

直轄:【完成】一般国道 4号 末広地下横断歩道整備事業 87百万円  
 直轄:【継続】一般国道 7号 小波渡自転車歩行者道整備事業 660百万円

●一般国道7号 小波渡自転車歩行者道整備事業



▲小中学生の通学路として利用されている鯉ヶ崎トンネル



▲歩行者が安全に利用できるように歩道を拡幅

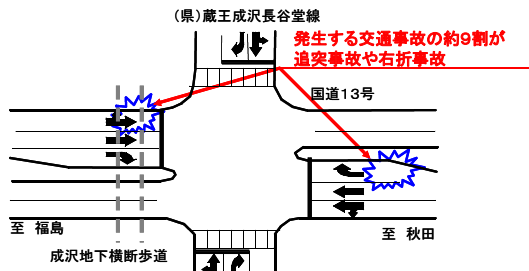
歩道が広くなることにより、歩行者の安全が確保されます。

・より効果的・効率的に交通事故を削減するため、死傷事故率の高い地区・箇所等<sup>※1</sup>の交通事故対策を重点的に進めます。

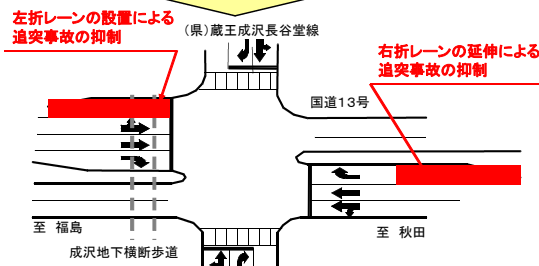
※1 死傷事故率の高い地区・箇所等:「事故危険箇所」・「あんしん歩行エリア」及び「優先度明示方式<sup>※2</sup>」により抽出(重点対策区間内より抽出)された死傷事故率の高い箇所を指します。

直轄:【完成】一般国道13号 蔵王成沢交差点改良 30百万円

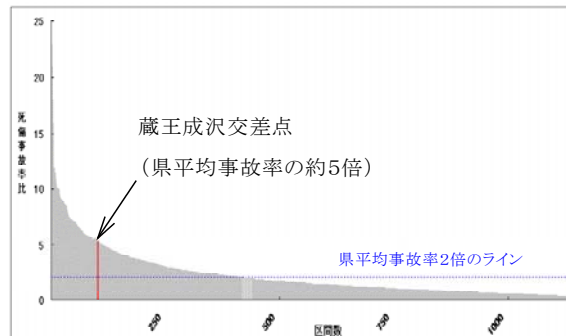
蔵王成沢交差点は、死傷事故が山形県平均の約5倍の確率で発生し、また「主要渋滞ポイント」にも位置づけられています。



▲現況平面図



▲計画平面図



▲優先度明示方式<sup>※2</sup>における死傷事故率比



▲蔵王成沢交差点付近での渋滞状況

※2 優先度明示方式:死傷事故に遭う確率の県平均に対する倍率が高い順に並べて優先的に事故対策すべき区間を明示・抽出する方式です。

交差点改良により、事故の減少、渋滞の緩和を図ります。



# <強い東北の創造>

## 重点事項：「縦」「横」のネットワークによる 広域的な交流・連携の推進

『目標①』 地域間の交流・連携を図るため、都市間距離や峠越を克服します。

・都市と中山間地域の交流・連携の強化と広域的な生活圏の形成を支援するため、高規格幹線道路・地域高規格道路等の幹線道路の整備を推進します。

直轄：【全線供用】	日本海沿岸東北自動車道 本荘～岩城	500百万円
【全線供用】	一般国道101号 浪岡五所川原道路	2,552百万円
【全線供用】	一般国道 45号 桃生登米道路	5,250百万円
【部分供用】	一般国道 7号 仁賀保本荘道路	5,405百万円
【全線供用】	一般国道 7号 琴丘能代道路	5,495百万円
【全線供用】	一般国道 13号 湯沢横手道路	620百万円
【全線供用】	一般国道 13号 主寝坂道路	4,570百万円
【部分供用】	一般国道113号 赤湯バイパス	3,909百万円
補助：【全線供用】	一般国道455号 早坂道路	1,000百万円

### ● 格子状骨格道路ネットワーク事業



【H14末】  
隣接する都市まで平均100分

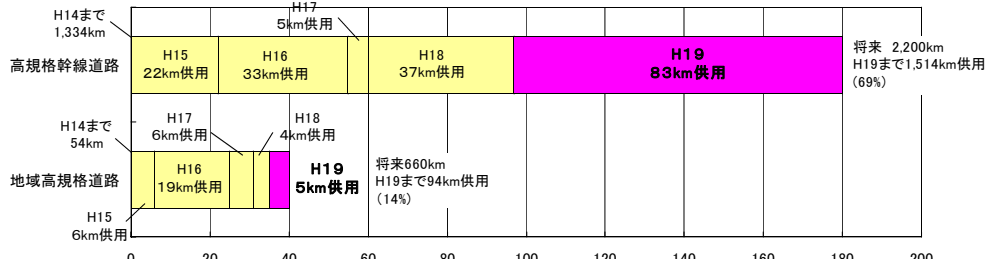


【将来】  
隣接する都市まで平均70分



路線別の整備状況(H19.3末) (単位: km)

	供用中	H19 供用延長	計	供用率	全体計画
東北中央自動車道	78.2	8.5	86.7	32.4%	268
日本海沿岸東北自	65.8	42.3	108.1	46.4%	233
三陸縦貫自動車道	70.3	21.2	91.5	40.8%	224



※ 格子状骨格道路ネットワークが全線開通した場合

●日本海沿岸東北自動車道 本荘～岩城



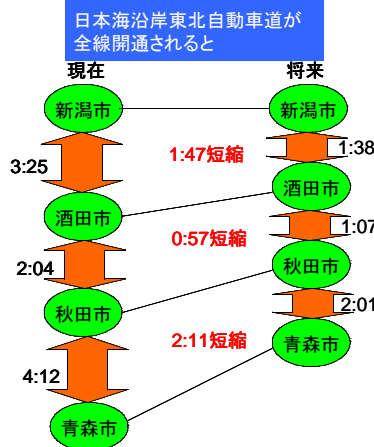
▲H19に供用予定の「日沿道本荘～岩城」と仁賀保本荘道路



▲代替道路の確保により緊急時の信頼性が向上



▲より広い地域の人々が高度医療を受けられるようになります



日本海沿岸道路の開通により、地域間の連携強化や経済基盤の強化を促進します

●一般国道13号 主寝坂道路



▲位置図



▲通行止めによる大幅な迂回路



◀危険な現道のヘアピンカーブ (金山町飛ノ森付近)

降雨等による、大幅な迂回を解消します。

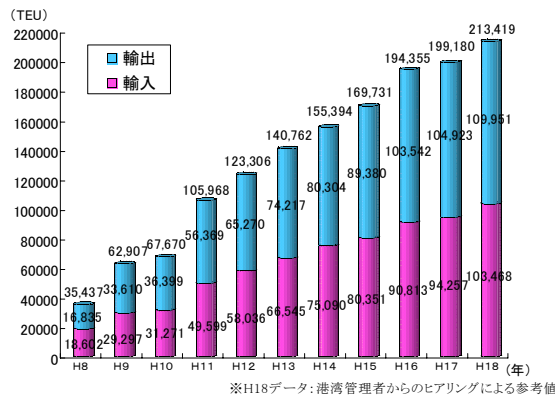
# <強い東北の創造>

**重点事項：グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備**

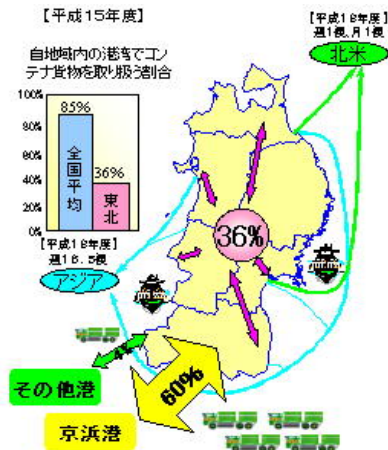
『目標①』産業競争力を強化するため、港湾の物流機能の充実、高速交通ネットワークの整備等を図り、物流のスピード向上、コストの低減、安全性・定時性・信頼性を確保します。

・依然として大都市圏に依存している東北のコンテナ貨物

### 【東北管内外資コンテナ貨物取扱量】



▲取扱量が順調に増加している外資コンテナ貨物

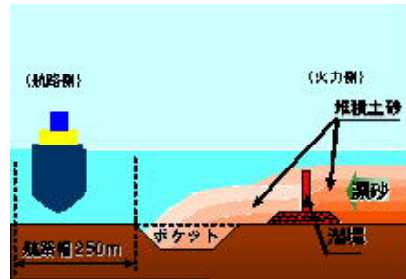


▲自地域内港湾のコンテナ貨物取扱率

・船舶の大型化に対応した航路、泊地の整備を実施します。

直轄：【完成】能代港大森地区航路整備事業

700百万円



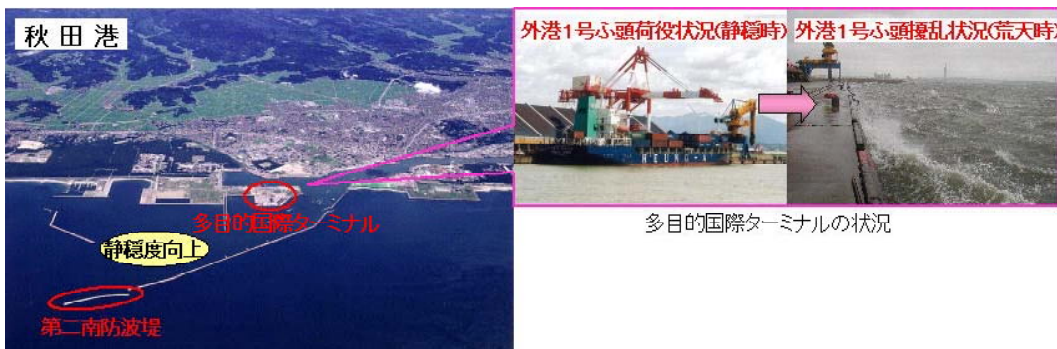
▲潜堤等による漂砂の防護

▲水中部に設置する潜堤と航路脇の溝(ポケット)の整備により、長期にわたって航路の計画水深が維持され、大型船の安全性が確保されます。

・港内静穏度を確保するため防波堤を整備します。

直轄：【継続】秋田港外港地区 防波堤整備事業

500百万円



▲防波堤の整備により、コンテナ等を取扱う多目的国際ターミナルの荷役の効率化を図ります。

# ＜美しい東北の実現＞

## 重点事項：東北らしい自然環境との共生

『目標①』東北の豊かな自然・歴史・文化などを実感できる個性的なまちづくりや観光振興・交流拠点の整備を行うとともに、地域の特性を活かした、利用しやすい親水空間の整備を行います。

・豊かな自然と地域の歴史や文化を活かしたまちづくりに配慮した道路整備などを推進します。

直轄：【継続】一関遊水地建設事業 2,704百万円  
 【全線供用】一般国道4号 平泉バイパス 2,140百万円  
 ※この他に、「都市計画道路 毛越寺線(岩手県)」も平成19年度供用します

### ●岩手県平泉町における取り組み

**街路整備**  
▲古都をイメージした(都)毛越寺線

**親水イメージ**  
▲水辺空間を利用した河川環境整備

**整備イメージ**  
▲周囲の景観に配慮したJR衣川橋梁

**道路整備** 平泉バイパスでは、柳之御所からの眺望にバイパスを通る車両がその視界に入らぬよう修景盛土を実施

視界から隠れる

柳之御所 視線 修景盛土 東稲山

歩道 3.5m 1.5m 車道 7.0m 2.0m

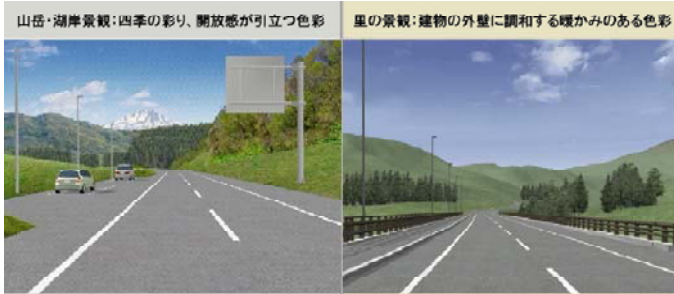
一般国道4号 平泉バイパス

修景盛土によって、東稲山を望む視界から平泉バイパスを通過する車両が隠れる

平成20年の世界文化遺産を目指し、平泉の歴史・文化を活かした地域振興を支援します。

・後世に誇れる「美しい東北」を残すため、地域住民や専門家等の意見を聴取しつつ、景観に配慮した社会資本整備を推進します。

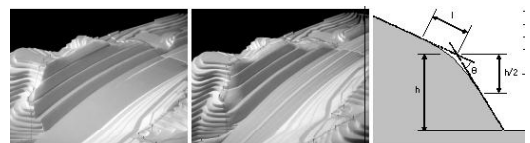
### ●津軽ダム景観検討の取り組み



▲周辺環境に配慮しながら事業を計画

### 【公共事業における景観アセスメントシステム】

・住民や学識経験者等の関係者から景観に関する意見を聴取しながら、景観に対する整備方針を策定し事業を推進します。



▲切土法面も出来るだけ自然に近い地形で創出

景観に配慮し、良質な公共空間の形成を図ります

・都市公園等の整備により、広域的な交流拠点の形成を目指します。

直轄：【完成】 国営みちのく杜の湖畔公園整備事業(草原エリア)

1,002百万円

●国営みちのく杜の湖畔公園整備事業(草原エリア)

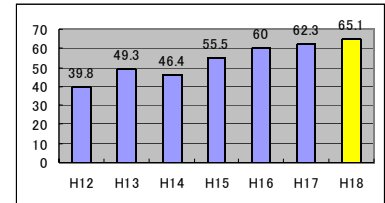
< 概要図 >



▲みちのく公園整備による交流拠点の形成を図ります



▲「草原エリア」の活用イメージ

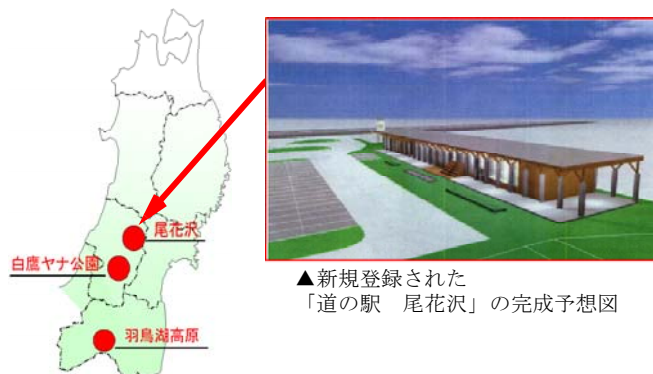


▲みちのく公園利用者数の推移(万人)

多様な年齢層の利用促進を図り、観光振興や交流連携の場として地域活性化に貢献します

・道路利用者の利便性の向上、及び観光振興や地域交流・連携の拠点となる、「道の駅」の整備を推進します。

●「道の駅」による交流拠点の整備～平成19年3月 新たに3箇所が新規登録～



▲平成19年3月に新規登録された「道の駅」



▲新規登録された「道の駅 尾花沢」の完成予想図



▲多くの客で賑わう「道の駅 上品の郷」  
一般国道45号 宮城県石巻市

「休憩施設」「情報発信基地」「地域の連携」の機能を併せ持つ「道の駅」の整備を推進します

・社会資本を積極的に利活用し、観光振興や地域活性化など地域の取り組みについて支援を進めます。

●「みなと」を中心とした交流の推進～みなとオアシス制度～

昨年度認定された「みなとオアシス酒田」では、さかた海鮮市場と、酒田夢の倶楽を中心として観光客が飛躍的に増加。平成18年度は3つのエリア(あおもり、ほんじょう、鼠ヶ関)を「みなとオアシス」に認定。

▼みなとオアシス酒田(さかた海鮮市場) ▼山居倉庫・酒田夢の倶楽



東北地方のみなとオアシス



今後も新たなエリアを募りながら、各種取り組みへの支援を推進します。

『目標②』 自然の豊かさが実感できるよう、流域環境・海域環境の保全および改善を図ります。

補助：【継続】<sup>おおみなと</sup>大湊港海岸侵食対策事業(エコ・コースト事業<sup>※</sup>) [青森県] 230百万円

※エコ・コースト事業：海岸保全施設の整備に当たり、施設の配置や構造等に工夫を行うことにより、生態系や自然景観等周辺の自然環境に配慮した海岸整備を行う。



▲海岸防護対策と併せ、地域住民が海と親しめるよう階段護岸等の整備を行います



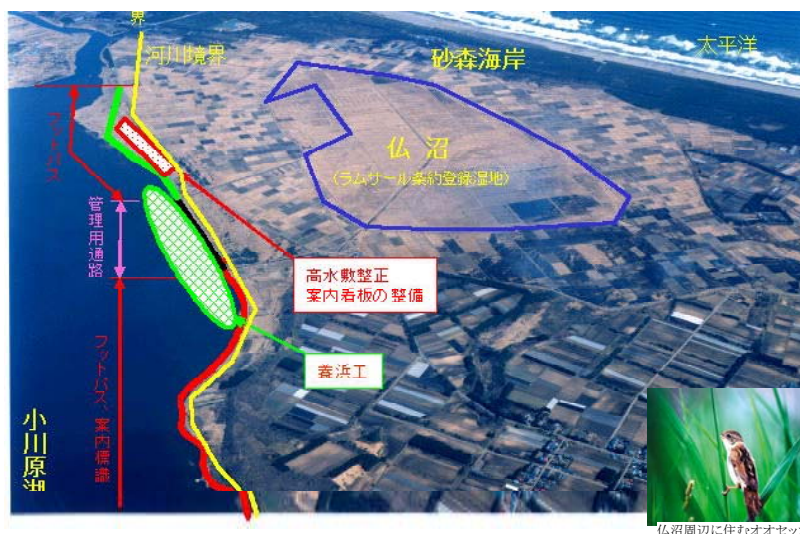
▲大湊湾は日本最大のコクガンの越冬地と言われており、「エコ・コースト事業」の導入により生態系など自然環境にも配慮した整備を行います

海岸防護対策と併せ、地域住民が海と親しめるようになります

『目標③』 生態系の保全に配慮しながら、自然との共生・調和を目指した社会資本整備を行います。

直轄：【新規】高瀬川水系直轄総合水系環境整備事業(仏沼地区) 83百万円  
 【新規】阿武隈川水系直轄総合水系環境整備事業(荒川・福島地区) 35百万円

●高瀬川水系環境整備 仏沼地区利用促進



▲現地観察会の様子

仏沼周辺に住むオオセッカ

自然観察学習や保全活動の利便性が向上されます。

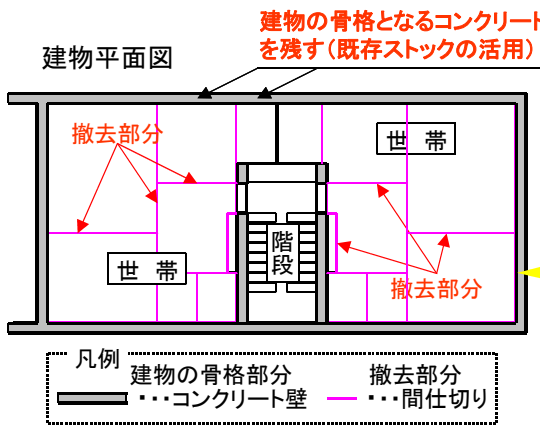
# <美しい東北の実現>

## 重点事項：循環型社会の構築

『目標①』 社会資本整備等において、建設廃棄物の発生抑制、廃棄物の再資源化、建設発生土の有効利用など徹底したリサイクルを推進します。また、既存ストックの有効活用を図ります。

・既設公営住宅については、建替え、改善等の適切な手法を選択し効率的かつ的確な整備を推進します。

補助：【継続】仙台市営西中田住宅ストック総合改善事業(仙台市) 536百万円



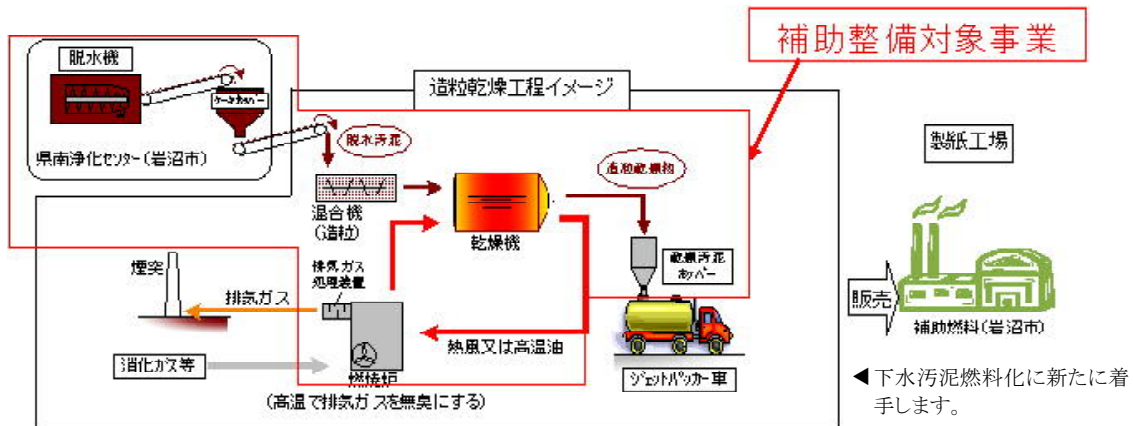
▶ ▲ 老朽化した建物の改善にあたり、建物の骨格となるコンクリート壁のみを残して(既存ストックの活用)、建物をリニューアル化

※エレベーターで昇降し、各室へ横方向に移動できるように新たに渡り廊下を設置(図中オレンジ色の箇所)

建設廃棄物の発生を抑制するため、既存ストックを有効に活用します。

・下水道の普及拡大に伴い増加する下水汚泥の減量化を図る他、建設資材利用等のリサイクルについても一層の促進を図ります。

補助：【継続】阿武隈川下流域下水道事業[機能高度化下水道事業](宮城県) 1, 023百万円



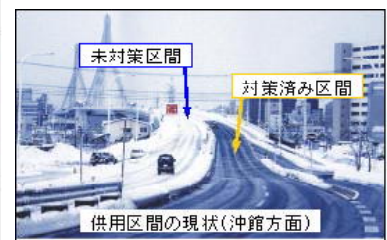
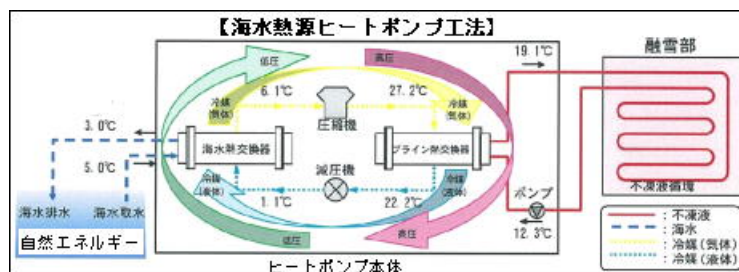
下水汚泥を燃料として利用価値を高め、更なるリサイクルの促進を図ります。

『目標②』 風力・地熱・水力・太陽光等を利用したクリーンエネルギーの積極的な導入を図ります。

・地域の特性を活かした地球に優しいクリーンエネルギーの活用を推進します。

補助：【継続】青森港本港地区橋梁改良事業（青森県）

187百万円



▲海水の熱で温めた不凍液を循環させ融雪する海水熱源ヒートポンプを採用し、エネルギー効率に優れたクリーンエネルギーの活用を推進しています。

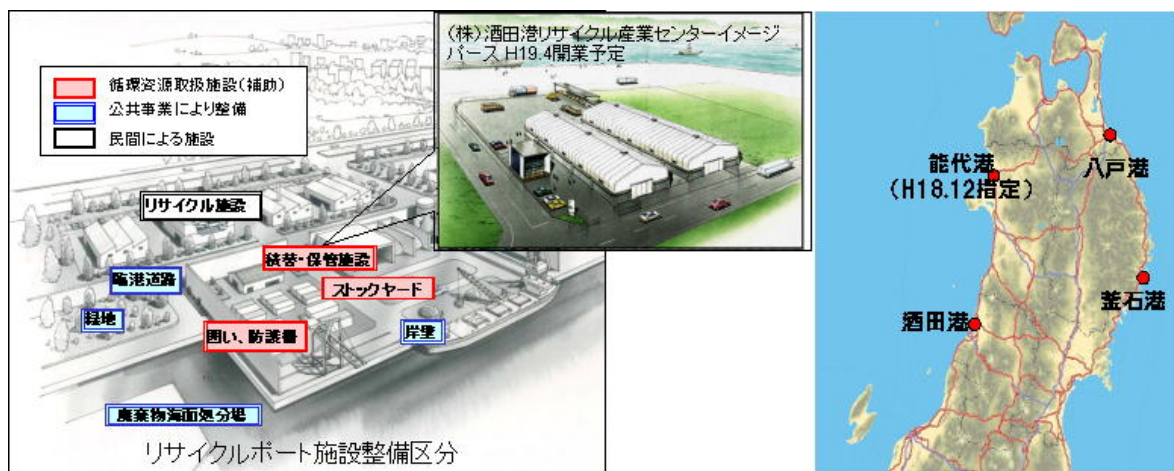
『目標③』 資源の有効利用を目指して、静脈物流システム※1の整備を図ります。

※1 静脈物流システム：消費者から排出され、利用後の廃棄物が回収、再資源化されるまでの物流システム。

・リサイクルポート※2における港湾整備を進め、総合的な静脈物流ネットワーク拠点を形成します。

※2 リサイクルポート：広域的なリサイクル施設の立地に対応した静脈物流の拠点となる港湾のこと。

●循環型社会の形成～リサイクルポートプロジェクトの推進～



▲東北地方では、平成15年4月に八戸港、釜石港、酒田港がリサイクルポートに指定され、中でも酒田港では平成19年4月に「酒田港リサイクル産業センター」が開業予定であることから、リサイクル資材取扱いの増加が見込まれています。

平成19年度は、昨年12月に指定された能代港について、利用促進のための助言、指導を行うと共に、必要に応じて施設整備を通じた支援等を検討していきます。



# <魅力ある都市づくり>

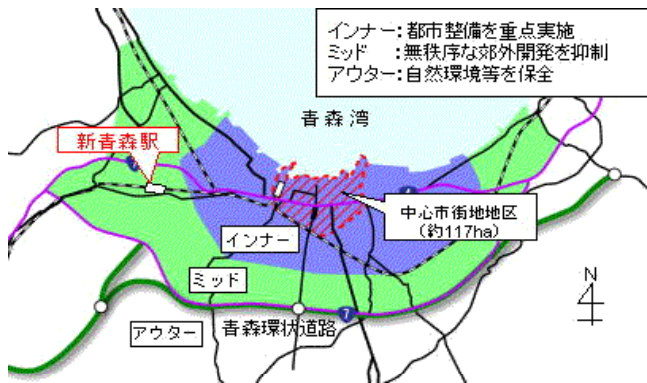
## 重点事項：「コンパクトシティ」の推進

『目標①』 中心市街地の活性化等を図るため、交通結節点の機能強化、街なか居住、無電柱化の推進等により、魅力ある都市への再生を進めます。

・交通結節点機能の強化、教育文化・公共施設の集積を図り、広域的な交流拠点の形成を目指します。

交付金：【継続】 まちづくり交付金  
 「新幹線新青森駅・青森駅周辺地区」(青森市) 1,356百万円 ※国費  
 【継続】 まちづくり交付金「いわき駅前地区」(いわき市) 1,437百万円 ※国費

### ●青森市コンパクトシティ構想



▲青森駅前整備イメージ



▲駅前公園整備

▲中心市街地を再生し、コンパクトなまちづくりを支援します  
 (平成19年2月、「中心市街地活性化基本計画」に認定)

交通環境の向上と良好な景観形成により、利用者の利便性・快適性の向上を図ります。

『目標②』 都市圏の交通の円滑化、環境の改善を図るため、道路交通渋滞対策や公共交通ネットワークの強化を行います。

・鉄道により分断された市街地を一体化することにより、交通の円滑化・渋滞対策等を図り、快適で魅力ある都市生活空間の形成を推進します。

補助：【継続】 多賀城連続立体交差事業(宮城県) 200百万円

### ●多賀城連続立体交差事業による慢性的な交通渋滞の解消と市街地の一体的整備

計画図



▲現在の東田中踏切の渋滞状況



▲高架化のイメージ

▲ JR仙石線の1.8km区間を高架化し、踏切除去による渋滞解消と、併せて実施している土地区画整理事業により、分断されている市街地の一体化を図ります。

分断されている市街地の一体化を図り、都市機能の向上を図ります。

・交通渋滞の解消・緩和と環境の改善を図るため、各都市の規模、交通特性に応じたバイパス整備等の都市交通対策を実施します。

直轄:【全線供用】	一般国道45号	八戸バイパス	754百万円
【全線供用】	一般国道 4号	花巻東バイパス	2,570百万円
【全線供用】	一般国道13号	大曲バイパス	780百万円
【全線供用】	一般国道 6号	相馬バイパス	2,295百万円
補助:【全線供用】	都市計画道路	秋田中央道路(秋田市)	260百万円

●一般国道4号 花巻東バイパス



▲ 花巻東バイパス位置図



▲市街地の交通混雑を解消する花巻東バイパス



▲花巻市内の混雑状況

市街地の交通混雑の解消と鉄道や高速道路へのアクセス機能の向上が図られます。

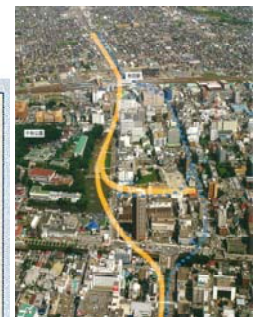
●都市計画道路 秋田市血道改

秋田中央道路 L=2,550m



▲渋滞の著しい秋田駅東西を地下で連結する自動車専用道路

▲秋田中央道路完成イメージ



(駅上空写真)

市内中心部の交通渋滞の緩和と沿道環境の改善が図られます。

## 5. 地域との対話の重視

地域との対話をすすめることにより、地域に根ざしたより良い社会資本整備・管理に努めます。

### 事例1 知ってなっとく！公共事業 50万人プロジェクト

普段なかなか入る機会の少ない工事現場や所管施設について、より多くの皆さんが直接見て、聞いて、触れていただくことで「公共事業」や「その現場」の理解を深めていただく取り組みを実施中です。



▲ のぞきに行こう！未来を支える「公共事業」

### 事例2 総合的学習への支援

自然や川への関心を高めることなどを目的として、将来を担う子供達の総合学習を、地域の方々と協働して支援しています。



▲川の水質や生きものを調査する水生生物調査

### 事例3 公共建築についてのイベントを開催

地域の方々と一緒に段ボールで建物を作り、街を創りあげるイベントを開催し、建築やまちづくりに対し親近感をもってもらい取り組みを実施しています。



▲段ボールの建物で、小さなまちづくりを体験

### 事例4 みんなの酒田港元気計画の策定

酒田港において、港湾利用者、市民の方など総勢80名以上と協働して構想を取りまとめ、地域の声を反映した港湾計画を策定しました。今後も推進委員会を組織し、港づくりを進めます。



▲市民と共に港の長期構想を検討

### 事例5 市民との対話によるまちづくり

市民の意見・要望等を広く収集し、河川の利活用が推進されるよう計画段階から市民が参加して検討を進めています。



▲住民と共同して河川の利活用を検討

### 事例6 市民参加型の道路管理

地域住民と歩道除雪、道路点検、除草清掃等を協働することにより、地域の意見を反映した利用者の視点での道路管理を推進します。



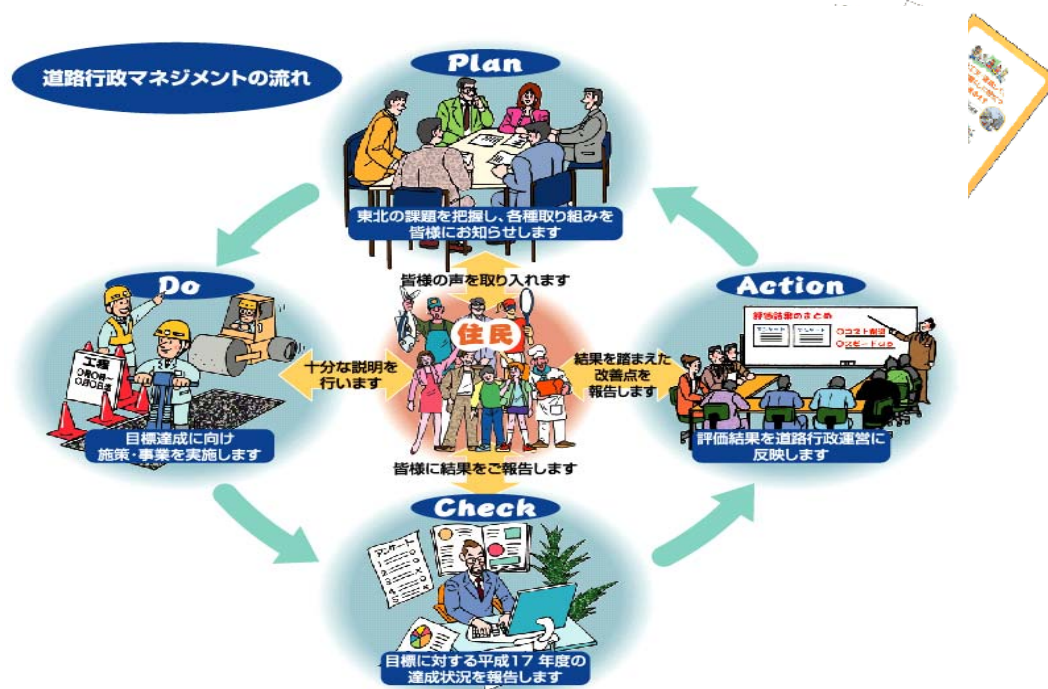
▲国道45号(釜石市)における取り組み

## 6. 効率的な事業執行

成果目標の明示や事後評価の実施を通じて透明性の向上を図るとともに、コスト縮減等による効果的な事業執行に努めます。

### 事例1 成果重視の行政運営～道路行政での取り組み例

平成15年度より、成果を重視した道路行政運営のしくみ(道路行政マネジメント)を導入し、5年後の成果目標、供用目標を示した「5年で見えるみちづくり～東北のみちサービス・レベルアッププラン～」を策定し、効率的かつ透明性の高いみちづくりを進めています。



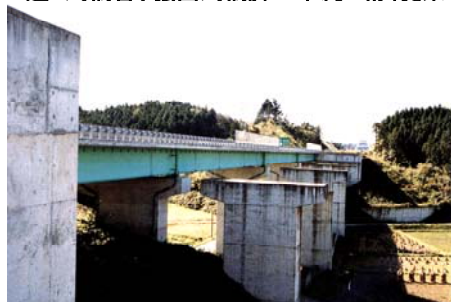
▲マネジメント・サイクルのイメージ

### 事例2 徹底したコスト縮減～長井ダム建設事業の例

現在建設中の長井ダムでは、人力作業の機械化等の新技術の開発、設計方法の見直しなど徹底した、建設コストの縮減を図りながら、事業を進めています。

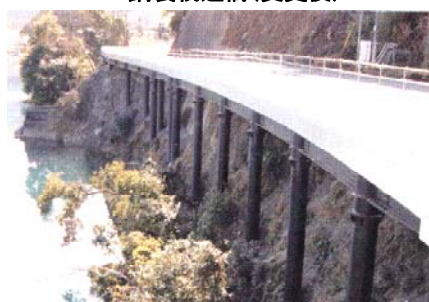
県道の付け替え工事を例にとると、従来の逆T式橋台を鋼製栈道橋にすることにより、地山の掘削面積を最小限に抑えられ、隣接する現道への影響を回避し、また、橋脚周りの大規模な仮設構台が不要になったことにより、大幅なコスト縮減が図られました。

逆T式橋台、張出式橋脚+単純H桁(従来工法)



縮減前(従来工法)  
3.52億円

鋼製栈道橋(変更後)



縮減後 1.67億円  
縮減額1.85億円  
縮減率 53%

## 7. 事業評価の実施

国土交通省では、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価を平成10年度から実施しています。平成14年4月からは、「行政機関が行う政策の評価に関する法律(行政評価法)」が施行されたことを受け、「国土交通省政策評価基本計画」が策定され、これに基づき実施しています。事業評価は、新規事業採択時評価・再評価・事後評価から構成されます。

### 1. 平成19年度予算に向けた新規事業採択時評価

新規事業の採択時において、費用対効果分析を含めた事業評価を行うもの。

平成10年度から導入。

平成19年度から新規に採択する31事業について、新規採択時評価を実施しました。

事業区分	直轄事業	補助事業	合計
河川事業	6	2	8
砂防事業等	0	7	7
海岸事業	0	1	1
道路・街路事業	6	6	12
市街地再開発事業	0	1	1
下水道事業	0	1	1
都市公園事業	0	1	1
合計	12	19	31

### 2. 平成19年度予算に向けた再評価

事業採択時から5年経過して未着工の事業、10年経過して継続中の事業等について再評価を行い、必要に応じて見直しを行うほか、事業の継続が適当と認められない場合には事業を中止するもの。平成10年度から導入。

事業採択後一定期間を経過した事業等を対象に、69事業について再評価を実施した結果、67事業が「継続」(内、1事業は見直し継続)、2事業が「評価手続き中」となりました。

※「評価手続き中」とは、当該年度内中に評価結果を決定予定であり、現時点では決定していないもの。

又は、当該年度内中に評価結果を決定せず、対応を保留し適切な時期に評価を実施するもの。

事業区分	実施箇所数						評価結果			
	5年未着工	10年継続中	準備計画5年	再々評価	その他	計	継続	うち見直し継続	中止	評価手続き中
河川事業	0	4	0	3	1	8	8	0	0	0
直轄事業	0	2	0	0	0	2	2	0	0	0
補助事業	0	2	0	3	1	6	6	0	0	0
ダム事業	0	0	0	4	0	4	4	0	0	0
直轄事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補助事業	0	0	0	4	0	4	4	0	0	0
砂防事業等	0	2	0	4	0	6	6	0	0	0
直轄事業	0	1	0	2	0	3	3	0	0	0
補助事業	0	1	0	2	0	3	3	0	0	0
海岸事業	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0
直轄事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補助事業	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0
道路・街路事業	1	7	0	6	0	14	13	1	0	1
直轄事業	0	3	0	4	0	7	7	0	0	0
補助事業	1	4	0	2	0	7	6	1	0	1

事業区分	実施箇所数						評価結果			
	5年未着工	10年継続中	準備計画5年	再々評価	その他	計	継続	うち見直し継続	中止	評価手続き中
土地区画整理事業	0	3	0	0	0	3	3	0	0	0
都市再生推進事業	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
港湾整備事業	0	2	0	5	0	7	7	0	0	0
直轄事業	0	0	0	4	0	4	4	0	0	0
補助事業	0	2	0	1	0	3	3	0	0	0
公営住宅整備事業	0	2	0	1	0	3	3	0	0	0
住宅市街地基盤整備事業	0	1	0	1	0	2	2	0	0	0
住宅市街地総合整備事業	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
下水道事業	0	16	0	0	1	17	16	0	0	1
都市公園事業	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
直轄事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補助事業	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
合計	1	40	0	26	2	69	67	1	0	2
直轄事業	0	6	0	10	0	16	16	0	0	0
補助事業	1	34	0	16	2	53	51	1	0	2

※再評価対象基準

5年未着工:事業採択後一定期間(5年間)が経過した時点で未着工の事業

10年継続中:事業採択後長期間(10年間)が経過した時点で継続中の事業

準備計画5年:準備・計画段階で一定期間(5年間)が経過している事業

再々評価:再評価実施後一定期間(5又は10年間)が経過している事業

その他:社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業

### 3. 平成18年度に実施した事後評価

事業完了後に、事業の効果、環境への影響等の確認を行い、必要に応じて適切な改善措置、同種事業の計画・調査のあり方等を検討するもの。平成15年度から導入。

事業完了後一定期間が経過した事業等を対象に、15事業について事後評価を実施した結果、すべての事業が「対応なし(再度の事後評価や改善措置の必要がない)」となりました。

事業区分	事後評価実施箇所数				事後評価結果			
	5年以内	再事後評価	その他	計	再事後評価	改善措置	対応無し	評価手続き中
河川事業	4	0	0	4	0	0	4	0
ダム事業	2	0	0	2	0	0	2	0
砂防事業等	1	0	0	1	0	0	1	0
道路・街路事業	5	0	0	5	0	0	5	0
港湾整備事業	3	0	0	3	0	0	3	0
合計	15	0	0	15	0	0	15	0

※事後評価対象基準

5年以内:事業完了後一定期間(5年以内)が経過した事業

再事後評価:前回の事後評価の際、その後の時間の経過、改善措置の実施等により効果の発現が期待でき、改めて事後評価を行う必要があると判断した事業

その他:上記以外の理由で事後評価の実施の必要が生じた事業

※事後評価結果

再事後評価:事後評価の結果、再度事後評価の実施が必要な場合

改善措置:事後評価の結果、改善措置の実施が必要な場合

対応なし:事後評価の結果、再事後評価、改善措置が必要ない場合

### 4. 補足

各事業毎の評価書については、東北地方整備局のホームページ(公共事業の評価)で公表しています。アドレスについては、次のとおりです。(http://www.thr.mlit.go.jp/)

## 8. 県別の主要事業一覧

### 【青森県】

区分	事業名(市町村名)	整備内容	H19年度 事業費(百万円)	H19年度事業内容
直轄	岩木川 鶴田地区消流雪用水導入事業 (北津軽郡鶴田町)	新規	55	詳細設計 1式
補助	中村川広域基幹河川改修事業 (西津軽郡鱒ヶ沢町)	新規	30	用地測量、橋梁概略設計
補助	市川海岸 海岸耐震対策緊急事業 (八戸市)	新規	50	堤防耐震対策 L=20m
補助	鳶川地すべり対策事業 (十和田市)	新規	72	測量、地質調査、詳細設計
直轄	一般国道7号 西碓ヶ関地区凍雪害防止 (平川市)	新規	70	堆雪幅確保
直轄	三沢公共職業安定所(ハローワーク三沢)(庁舎等の建設) (三沢市)	新規	103	庁舎 RC-2 938㎡
直轄	津軽自動車道 一般国道101号 鱒ヶ沢道路 (つがる市～西津軽郡鱒ヶ沢町)	新規	20	調査設計 等
直轄	高瀬川水系直轄総合水系環境整備事業(仏沼地区利用推進) (三沢市)	新規	83	フットパス(散策路)、高水敷整正
直轄	一般国道7号 青森西バイパス (青森市)	事業 延伸	400	改良・橋梁工事 等
直轄	一般国道4号 造道地区電線共同溝 (青森市)	完成	480	本体工事 L=440m 完成4車線 L=0.3km
補助	川内港海岸葛沢地区侵食対策事業 (むつ市)	完成	28	護岸 L=20m
直轄	青森港沖館地区複合一貫輸送ターミナル改良事業(耐震強化) (青森市)	完成	470	上部工 L=45m 浚渫 20,000m <sup>2</sup>
補助	青森港沖館地区橋梁改良事業(耐震強化) (青森市)	完成	176	床版・橋面工 307㎡ 主桁補強・落橋防止 1式
直轄	一般国道4号 土屋バイパス (東津軽郡平内町～青森市)	供用	1,619	暫定2車線 L=0.9km 改良・舗装工事 等
直轄	津軽自動車道 一般国道101号 浪岡五所川原道路 (青森市～五所川原市)	供用	2,552	暫定2車線 L=7.6km 改良・舗装工事 等
直轄	一般国道4号 七戸バイパス (十和田市～上北郡七戸町)	供用	1,156	暫定2車線 L=2.9km 改良・舗装工事 等
直轄	一般国道45号 八戸バイパス (八戸市)	供用	754	完成4車線 L=2.2km 改良・舗装工事 等
直轄	津軽ダム建設事業 (中津軽郡西目屋村)	継続	3,720	本体関連工事 付替県道工事等の進捗
補助	青森市公共下水道事業(下水道地震対策緊急整備事業) (青森市)	継続	176	下水道地震対策緊急整備事業 (汚水幹線の補強) 他
補助	大湊港海岸大湊地区侵食対策事業 (むつ市)	継続	230	緩傾斜護岸 L=273m
補助	青森港本港地区橋梁改良事業 (青森市)	継続	187	舗装工 2,910㎡ 配管工 1,600㎡
補助	まちづくり交付金「新幹線新青森駅・青森駅周辺地区」 (青森市)	継続	1,356	観光交流センター、駅前駐輪場整備

※国費

【岩手県】

区分	事業名(市町村名)	整備内容	H19年度 事業費(百万円)	H19年度事業内容
補助	天神の沢通常砂防事業 (釜石市)	新規	25	地質調査 1式 詳細設計 1式
直轄	一般国道4号 松島橋橋梁補修 (岩手郡滝沢村～盛岡市)	新規	115	床版補修、伸縮装置補修、 橋梁用防護柵補修
直轄	三陸縦貫自動車道 一般国道45号 吉浜道路 (大船渡市)	新規	20	調査設計 等
直轄	一般国道4号 盛岡北道路 (盛岡市～岩手郡滝沢村)	新規	20	調査設計 等
直轄	岩手県警察機動隊(庁舎等の建設) (岩手郡滝沢村)	新規	243	庁舎 他
補助	二戸市特定環境保全公共下水道事業 (二戸市)	新規	25	基本計画策定、水処理施設
補助	砂鉄川河川激甚災害対策特別緊急事業 (一関市)	完成	480	
直轄	一般国道45号 道の駅「たろう」防災拠点化整備事業 (宮古市)	完成	80	災害用資材倉庫等の整備
補助	住宅市街地総合整備事業「月が丘地区」 (盛岡市)	完成	160	公営住宅 24戸
直轄	湯田ダム湖活用環境整備事業 (和賀郡西和賀町)	完成	100	多目的広場、遊歩道 親水護岸 等
直轄	一般国道4号 小鳥谷バイパス (二戸郡一戸町)	供用	840	暫定2車線 L=2.6km 完成4車線 L=0.3km
直轄	一般国道4号 平泉バイパス (西磐井郡平泉町)	供用	2,140	暫定2車線 L=3.4km 改良・舗装工事 等
補助	田野畑村特定環境保全公共下水道事業 (下閉伊郡田野畑村)	供用	204	汚泥処理棟、汚泥脱水機設置、 場内整備 他
直轄	一般国道4号 花巻東バイパス (花巻市)	供用	2,570	暫定2車線 L=3.3km 改良・舗装工事 等
直轄	一般国道4号 北上拡幅 (北上市)	供用	510	完成4車線 L=0.6km 改良・舗装工事 等
直轄	一関遊水地建設事業 (一関市、平泉町、奥州市)	継続	2,704	第1小堤:継続、第2・3小堤:新規 第一統合揚水機場、国道4号衣川橋
直轄	胆沢ダム建設事業 (奥州市)	継続	17,844	堤体盛立等本体工事 付替国道・市道等の進捗
直轄	八幡平山系直轄火山砂防事業 鬼又沢第一・第二砂防えん堤 (岩手郡滝沢村)	継続	350	第一砂防えん堤 完成
直轄	久慈港湾口地区防波堤整備事業(直轄海岸事業との合併事業) (久慈市)	継続	1,779	基礎工 L=25m、本体工 L=25m
補助	宮古港海岸高浜地区高潮対策事業 (宮古市)	継続	34	防潮堤 L=80m 陸閘 1基据付



【宮城県】

区分	事業名(市町村名)	整備内容	H19年度 事業費(百万円)	H19年度事業内容
補助	湯涌急傾斜地崩壊対策事業 (大崎市)	新規	50	鉄筋挿入工 特殊吹付法枠工
直轄	一般国道4号 三本木大橋(上り)橋梁補修 (大崎市)	新規	171	床版補修
補助	阿武隈川下流流域下水道事業[下水汚泥燃料化] (岩沼市)	新規	420	脱水ケーキ造粒施設詳細 設計・工事 他
直轄	北上川下流 旧北上川分流堰改修事業 (登米市)	完成	537	築堤L=300m
直轄	北上川下流 南沢川改修事業 (登米市)	完成	856	築堤L=300m 排水機場 1箇所
直轄	一般国道45号 仙台東部共同溝 (仙台市)	完成 新規	482	完成 L=1,400m、新規 L=2,400m
直轄	一般国道4号 末広地下横断歩道整備事業 (岩沼市)	完成	87	地下横断歩道の新設
直轄	仙台塩釜港仙台港区中野地区岸壁改良事業(耐震強化) (仙台市)	完成	860	地盤改良 L=90m
直轄	国営みちのくの杜の湖畔公園整備事業(Ⅱ期地区草原エリア) (柴田郡川崎町)	完成	1,002	草原エリア17.6ha等 園路広場、休憩所等
直轄	三陸縦貫自動車道 一般国道45号 桃生登米道路 (石巻市～登米市)	供用	5,250	暫定2車線 L=13.8km 改良・舗装工事 等
直轄	一般国道4号 富谷大和拡幅 (仙台市～黒川郡大衡村)	供用	700	完成4車線 L=0.3km 改良・舗装工事 等
直轄	一般国道4号 築館バイパス (栗原市)	供用	140	暫定2車線 L=1.8km 改良・舗装工事 等
直轄	仙台湾南部海岸 海岸保全施設整備事業 (岩沼市、亶理郡山元町)	継続	884	ヘッドランド(人工岬)(ヘッド部75m) 堤防 L=30m
補助	川内沢川都市基幹河川改修事業 (名取市)	継続	610	河道掘削L=180m 排水樋管5基、橋梁下部工1式
補助	仙台市公共下水道事業(浸水被害緊急改善下水道事業) (仙台市)	継続	3,273	浸水被害対策計画対象面積 長町地区140ha、原町東部地区221ha
補助	住宅・建築物耐震改修等事業 (仙台市)	継続	599	仙台市役所本庁舎耐震補強他
直轄	仙台空港B滑走路改良事業 (名取市)	継続	443	滑走路改良 1,150m
補助	仙台市営西中田住宅ストック総合改善事業 (仙台市)	継続	536	第3棟目 完成
補助	中央一丁目第二地区第一種市街地再開発事業 (仙台市)	継続	3,333	建物本体工事
補助	多賀城連続立体交差事業 (多賀城市)	継続	200	仮線切替工事

【秋田県】

区分	事業名(市町村名)	整備内容	H19年度 事業費(百万円)	H19年度事業内容
直轄	雄物川下流 新屋水門整備事業 (秋田市)	新規	33	詳細設計 1式
直轄	米代川 藤琴川地区堤防質の整備 (能代市)	新規	198	堤防質の整備L=430m
直轄	雄物川上流 鶴巣地区河川改修事業 (雄勝郡羽後町)	新規	238	用地補償 築堤L=190m
直轄	雄物川上流 湯沢地区消流雪用水導入事業 (湯沢市)	新規	92	詳細設計 1式
補助	新城川鉄道橋・道路橋緊急対策事業 (秋田市)	新規	100	地質調査、橋梁設計1式
補助	伏見地区 雪崩対策事業 (由利本荘市)	新規	30	雪崩予防柵工、グライド防止柵工 L=40m
直轄	一般国道13号 峰吉川地区防雪対策 (大仙市)	新規	60	雪崩防止柵設置
直轄	一般国道7号 鷹巣大館道路 (北秋田市)	事業 延伸	3,723 (20)	調査設計 L=5.6km 改良工事 L=8.3km 等
直轄	一般国道7号 下浜道路 (秋田市)	新規	20	調査設計 等
直轄	雄物川水系直轄総合水系環境整備事業(秋田地区かわまちづくり整備) (秋田市)	新規	60	かわまちづくり検討、親水護岸整備
直轄	雄物川水系直轄総合水系環境整備事業(大曲地区かわまちづくり) (大仙市)	新規	60	フットパス(散策路)、樋管横断路
直轄	米代川水系直轄総合水系環境整備事業(扇田地区水辺整備) (大館市)	新規	37	完成4車線 L=0.3km
補助	まちづくり交付金「横手駅周辺地区」 (横手市)	新規	92※	駐車場整備、駅自由通路
直轄	八幡平山系直轄火山砂防事業 六枚沢川第二砂防えん堤 (仙北市)	完成	169	砂防えん堤1基 完成
補助	大内生活貯水池建設事業 (由利本荘市)	完成	1,000	堤体附帯工・管理設備 試験湛水を実施し完成を図る。
直轄	能代港大森地区航路整備事業 (能代市)	完成	700	浚渫 50,000m <sup>2</sup>
補助	都市計画道路 秋田中央道路 (秋田市)	完成	260	L=2,550m 2車線
補助	まちづくり交付金「西毛首内地区」 (雄勝郡羽後町)	完了	48※	電線類地下埋設
直轄	日本海沿岸東北自動車道 一般国道7号 仁賀保本荘道路 (にかほ市～由利本荘市)	供用	5,405	暫定2車線 L=11.3km 改良・舗装工事 等
直轄	日本海沿岸東北自動車道 本荘～岩城 (由利本荘市)	供用	500	暫定2車線 L=21.3km 付帯設備工事 等
直轄	日本海沿岸東北自動車道 一般国道7号 琴丘能代道路 (山本郡三種町～能代市)	供用	5,495	暫定2車線 L=10.0km 改良・舗装工事 等
直轄	東北中央自動車道 一般国道13号 湯沢横手道路 (湯沢市～横手市)	供用	620	暫定2車線 L=3.6km 改良・舗装工事 等
直轄	盛岡秋田道路 一般国道46号 角館バイパス (仙北市)	供用	790	暫定2車線 L=2.6km 改良・舗装工事 等
直轄	一般国道13号 大曲バイパス (大仙市)	供用	780	完成4車線 L=2.6km 改良・舗装工事 等
直轄	一般国道13号 神宮寺バイパス (大仙市)	供用	750	暫定2車線 L=3.3km 改良・舗装工事 等
直轄	一般国道13号 河辺拡幅 (秋田市)	供用	200	完成4車線 L=0.3km 改良・舗装工事 等
直轄	森吉山ダム建設事業 (北秋田市)	継続	12,971	堤体盛立等本体工事 付替県道・市林道等の進捗
直轄	一般国道7号 土崎自転車歩行者道整備事業 (秋田市)	継続	129	用地買収の推進
直轄	秋田港外港地区防波堤整備事業 (秋田市)	継続	500	基礎工 L=140m、本体工 L=51m
補助	街並み環境整備事業(六郷中央地区) (仙北郡美郷町)	継続	35	道路の美装化 民間住宅等修景助成

※国費

【山形県】

区分	事業名(市町村名)	整備内容	H19年度 事業費(百万円)	H19年度事業内容
直轄	最上川中流 岩ヶ袋地区消流雪用水導入事業 (北村山郡大石田町)	新規	100	詳細設計 1式
補助	綱木特定緊急地すべり対策事業 (米沢市)	新規	20	横ボーリング工
直轄	一般国道112号 月山沢橋震災対策 (西村山郡西川町)	新規	140	制震装置設置等
直轄	最上川水系直轄砂防事業 八敷代川第三砂防えん堤 (最上郡真室川町)	完成	107	砂防えん堤 1基
直轄	最上川水系直轄砂防事業 トノ沢川砂防第二えん堤 (西村山郡西川町)	完成	196	砂防えん堤 1基
補助	綱木川ダム建設事業 (米沢市)	完成	2,980	堤体附帯工、周辺環境整備
直轄	一般国道13号 蔵王成沢交差点改良 (山形市)	完成	30	左折レーンの新設
補助	一本木土地地区画整理事業 (東根市)	補助 完了	—	都市計画道路整備
直轄	東北中央自動車道 一般国道13号 主寝坂道路 (最上郡金山町～最上郡真室川町)	供用	4,570	暫定2車線 L=4.9km 改良・舗装工事 等
直轄	新潟山形南部連絡道路 一般国道113号 赤湯バイパス (南陽市～東置賜郡高畠町)	供用	3,909	完成4車線 L=0.3km 改良・舗装工事 等
直轄	一般国道13号 上山バイパス (南陽市～山形市)	供用	2,435	暫定2車線 L=1.2km(一部4車化) 改良・舗装工事 等
直轄	山形県警察学校(生徒寮・炊食浴室棟の建設) (天童市)	完成	509	生徒寮・炊食浴室棟 RC-4 2,805㎡
直轄	長井ダム建設事業 (長井市)	継続	11,330	取付放流設備製作据付 付替県道工事等の進捗
直轄	一般国道7号 小波渡自転車歩行者道整備事業 (鶴岡市)	継続	660	鱒ヶ崎トンネル本体工(L=316m) 着手
補助	酒田港西ふ頭地区橋梁(大浜陸橋)改良事業(耐震強化) (酒田市)	継続	76	主桁補強・落橋防止・床盤下面 補強 1式

【福島県】

区分	事業名(市町村名)	整備内容	H19年度 事業費(百万円)	H19年度事業内容
直轄	阿武隈川上流 郡山地区堤防質の整備 (郡山市)	新規	320	堤防質の整備L=650m
直轄	一般国道6号 菅波大橋震災対策 (いわき市)	新規	230	制震装置設置等
補助	一般国道115号 霊山道路 (伊達市)	新規	100	調査・設計等
補助	会津縦貫南道路 一般国道121号 湯野上バイパス (南会津郡下郷町)	新規	50	調査・設計等
直轄	阿武隈川水系直轄総合水系環境整備事業(荒川・福島地区かわまちづくり) (福島市)	新規	35	調査検討、堤防天端舗装
補助	湯本川床上浸水対策特別緊急事業 (いわき市)	完成	1,840	河道改修1式 道路橋3橋、鉄道橋2橋
補助	木戸ダム建設事業 (双葉郡楢葉町)	完成	2,969	堤体附帯工、周辺整備工
補助	仏の沢 特定緊急砂防事業 (耶麻郡西会津町)	完成	23	溪流保全工 L=67m
直轄	一般国道4号 図景地区電線共同溝 (郡山市)	完成	445	完成 L=1,500m 本体工事
補助	扇町土地地区画整理事業 (会津若松市)	補助 完了	—	都市計画道路整備
直轄	一般国道4号 本宮拡幅 (安達郡本宮町～安達郡大玉村)	供用	1,350	完成4車線 L=2.9km 改良・舗装工事 等
直轄	一般国道6号 相馬バイパス (相馬市～相馬郡新地町)	供用	2,295	完成2車線 L=4.7km 改良・舗装工事 等
直轄	阿武隈川水系直轄火山砂防事業 須川第二砂防えん堤 (福島市)	継続	266	砂防えん堤本体工 着手
補助	木崎海岸高潮対策事業 (相馬郡新地町)	継続	100	人工リーフL=17m
直轄	相馬港3号ふ頭地区岸壁整備事業(耐震強化) (相馬市)	継続	510	本体工 L=15m、裏込工 L=165m
補助	郡山市都市水環境整備事業 (郡山市)	継続	30	雨水貯留施設 約150基
補助	都市公園整備事業 亀ヶ城公園 (耶麻郡猪苗代町)	継続	899	体験学習施設

## 9. 目標達成のための指標一覧

(平成19年3月現在)

### <安全で安心できる地域づくり>

#### 重点事項：防災・減災対策の推進

指標名	H14年度末	H18年度末 (予定)	H19年度末 (見込み)	H19年度末 目標	将来目標 (長期)
洪水が発生した場合の床上浸水被害軽減	---	7,800戸	22,300戸	18,200戸	58,800戸
土砂災害から保全される重要交通網等ライフライン箇所数	680箇所	750箇所	770箇所	780箇所	960箇所
津波・高潮による浸水被害防護区域の拡大 (国交省分)	9,777ha	10,327ha	10,370ha	10,543ha	15,815ha
緊急輸送道路の橋梁のうち、耐震補強を実施 した橋梁の割合	41%	89%	100%	100%	---
耐震強化岸壁の充足率	30%	35%	45%	40%	着実に増加
河川情報の提供が可能となる市町村	17市町村	34市町村	51市町村	95市町村	147市町村
県庁所在地の無電柱化率	10%	15%	概ね20%	概ね20%	着実に増加

#### 重点事項：雪対策の推進

指標名	H14年度末	H18年度末 (予定)	H19年度末 (見込み)	H19年度末 目標	将来目標 (長期)
冬期歩行空間確保率	77%	81%	82%	82%	約100%
消流雪用水導入事業(新規箇所、運用改善) による受益人口	46,200人	64,900人	70,600人	73,400人	74,400人
冬期2車線確保率	75%	76%	76%	76%	約85%

#### 重点事項：少子化・高齢化等への対応

指標名	H14年度末	H18年度末 (予定)	H19年度末 (見込み)	H19年度末 目標	将来目標 (長期)
市街地の歩道の幅員化率	22% (678km)	24% (742km)	24% (746km)	24% (735km)	着実に増加
交通事故による死傷事故率(件/億台キロ)	73	69	66	66	着実に減少
救命救急センターに1時間で行ける人口	730万人	736万人	740万人	740万人	約870万人
官庁施設のバリアフリー <sup>*</sup>	57%	73%	84%	90%	100%

<sup>\*</sup>バリアフリー：障害者や高齢者・妊産婦などが一般社会の中で遭遇する不便さ(障壁：バリアー)を取り除くこと。

### <強い東北の創造>

#### 重点事項：広域的な交流連携の促進

指標名	H14年度末	H18年度末 (予定)	H19年度末 (見込み)	H19年度末 目標	将来目標 (長期)
高速道路まで1時間で行ける人口の割合	97%	98%	99%	99%	約100%
規格の高い道路を使う割合	8.0%	8.9%	9.0%	9.0%	約15%
都市間所要時間の短縮	100分	96分	95分	95分	約70分
高速道路と結ばれる空港の数	7/9	8/9	8/9	8/9	9/9

## 重点事項：国際競争力の強化

指標名	H14年度末	H18年度末 (予定)	H19年度末 (見込み)	H19年度末 目標	将来目標 (長期)
40,000DWT以上の船舶が貨物を満載して着岸できる岸壁の充足率	46%	49%	49%	49%	63%
風浪によるコンテナ定期航路の抜港・遅れ発生回数	43回/年	22回/年	30回/年	30回/年	16回/年
高速道路と結ばれる重要港湾の数	5/15	7/15	7/15	7/15	14/15

## <美しい東北の実現>

### 重点事項：自然環境との調和・共生の推進

指標名	H14年度末	H18年度末 (予定)	H19年度末 (見込み)	H19年度末 目標	将来目標 (長期)
都市における良好な樹林地等を有する都市公園等の面積	2,400ha	2,524ha	2,536ha	2,600ha	着実に増加
海辺に親しむことができる水際線の増加(国交省分)	373km	374km	374km	377km	440km
海岸の汀線防護による侵食進行の防止(国交省分)	277km	286km	287km	289km	353km

### 重点事項：環境対策の推進

指標名	H14年度末	H18年度末 (予定)	H19年度末 (見込み)	H19年度末 目標	将来目標 (長期)
廃棄物海面処分場の整備率	73%	78%	79%	91%	100%
東北地方の重要港湾における廃棄物・リサイクル資源取扱量	198万トン	247万トン	250万トン	概ね250万トン	着実に増加
ダム完成による上水道・工業用水の供給可能量の増加量	---	285,630m <sup>3</sup> /日	375,930m <sup>3</sup> /日	259,000m <sup>3</sup> /日	410,000m <sup>3</sup> /日
下水道処理人口普及率	50%	57%	59%	59%	75%

## <魅力ある都市づくり>

### 重点事項：「コンパクトシティ」の推進

指標名	H14年度末	H18年度末 (予定)	H19年度末 (見込み)	H19年度末 目標	将来目標 (長期)
道路渋滞による1人当たりの年間損失時間	33時間/年	30時間/年	29時間/年	29時間/年	着実に減少
区画整理により良好な宅地等が形成される面積	630ha	859ha	957ha	1,015ha	着実に整備
県庁所在地の無電柱化率(再掲)	10%	15%	概ね20%	概ね20%	着実に増加

凡 例  
 達成見込  達成困難

- 注1) H18年度末は予定値であり、今後変更する場合がある。  
 2) H14年度末が「-」となっている指標の各年次の数値は、H14年度末を基準とした増加量を示す。  
 3) 各指標の定義については次頁参照。  
 4) 将来は概ね10～15年後を示す。

## ○各指標の定義一覧

### <安全で安心できる地域づくり>

#### 重点事項：防災・減災対策の推進

指標名	定義
洪水が発生した場合の床上浸水被害軽減	洪水が発生した場合の床上浸水が解消された戸数の増加量
土砂災害から保全される重要交通網等ライフライン箇所数	土石流危険渓流及び地すべり危険箇所等において、砂防関係事業を実施することにより、土砂災害から主要な道路や鉄道など重要交通網等ライフラインが保全(安全が確保)される箇所数
津波・高潮による浸水被害防護区域の拡大	浸水防護対策が必要な面積に占める防護完了面積
緊急輸送道路の橋梁のうち、耐震補強を実施した橋梁の割合	直轄国道の橋梁のうち、特に優先的に耐震補強を実施する必要がある橋梁で、耐震補強を実施済及び一部実施済の橋梁の割合
耐震強化岸壁の充足率	東北各県の重要港湾の中で基本方針に定められている耐震強化岸壁の整備が完了している割合
河川情報の提供が可能となる市町村	光ファイバーネットワークの拡大により、提供が可能となる市町村数
県庁所在地の無電柱化率	県庁所在地での市街地の幹線道路(県道以上)延長に対する、無電柱区間(電線・電柱が存在しない区間)の割合

#### 重点事項：雪対策の推進

指標名	定義
冬期歩行空間確保率	雪みち計画による冬期歩行空間確保延長に対する対策済み延長の割合
消流雪用水導入事業(新規箇所、運用改善)による受益人口	消流雪用水導入事業により生活環境改善効果が見られる受益人口
冬期2車線確保率	一般国道、主要地方道及び一般県道のうち積雪地域において冬期除雪等により2車線が確保される延長の割合

※ハートビル法:高齢者や身体障害者等の自立と積極的な社会参加を促すため、不特定かつ多数が利用する建築物において、高齢者や身体障害者等が円滑に利用できるような整備を促進するための法律。

#### 重点事項：少子化・高齢化等への対応

指標名	定義
市街地の歩道の広幅員化率	市街地部の一般国道区間のうち自転車歩行者道の有効幅員3mを確保した歩道区間の割合
交通事故による死傷事故率	自動車1億台キロ走行する間に遭う死傷事故の確率
救命救急センターに1時間で行ける人口	最寄りの高度医療施設(救命救急センター)に自動車専用道路等を利用し、60分で到達可能な市町村の人口
官庁施設のバリアフリー	既存官庁施設でハートビル法 <sup>*</sup> に基づくバリアフリー化改修が完成する施設の割合

### <強い東北の創造>

#### 重点事項：広域的な交流連携の促進

指標名	定義
高速道路まで1時間で行ける人口の割合	自動車専用道路(高規格幹線道路・地域高規格道路)等のICから60分で到達可能な人口の割合
規格の高い道路を使う割合	自動車専用道路等を利用する交通の割合
都市間所要時間の短縮	隣接の地方生活圏中心都市(38都市)相互の所要時間
高速道路と結ばれる空港の数	自動車専用道路等のICから10分以内で連絡可能な空港の数

#### 重点事項：国際競争力の強化

指標名	定義
40,000DWT以上の船舶が貨物を満載して着岸できる岸壁の充足率	管内港湾において、計画されている水深13m以上の岸壁のうち整備が完了している岸壁の割合
風浪によるコンテナ定期航路の抜港・遅れ発生回数	コンテナ定期航路就航港のうち、風浪等によって抜港・遅れが生じた回数
高速道路と結ばれる重要港湾の数	自動車専用道路等のICから10分以内で連絡可能な重要港湾の数

## <美しい東北の実現>

### 重点事項：自然環境との調和・共生の推進

指標名	定義
都市における良好な樹林地等を有する都市公園等の面積	DID地区 <sup>※</sup> 及びその近傍の良好な樹林、湿地等を有する2ha以上の都市公園及び都市における地域性緑地面積（緑地保全地区、条例に基づく緑地のみ）
海辺に親しむことができる水際線の増加	地域特性を活かした利用しやすい海辺親水空間の整備延長
海岸の汀線防護による侵食進行の防止	侵食対策が必要な延長に占める海岸保全施設の整備延長

### 重点事項：環境対策の推進

指標名	定義
廃棄物海面処分場の整備率	東北管内における廃棄物海面処分場の整備率
東北地方の重要港湾における廃棄物・リサイクル資源取扱量	東北地方の重要港湾の中で、廃棄物・リサイクル資源の取扱量
ダム完成による上水道・工業用水の供給可能量の増加量	ダム完成による上水道・工業用水の供給可能量の増加量
下水道処理人口普及率	総人口に対して、下水道を利用できる人口の割合

## <魅力ある都市づくり>

### 重点事項：「コンパクトシティ」の推進

指標名	定義
道路渋滞による1人当たりの年間損失時間	一般県道以上の道路における渋滞がない場合の所要時間と実際の所要時間との差を人口で除した値
区画整理により良好な宅地等が形成される面積	DID地区 <sup>※</sup> 内で実施中の土地区画整理事業で整備が完了した面積
県庁所在地の無電柱化率（再掲）	県庁所在地での市街地の幹線道路（県道以上）延長に対する、無電柱区間（電線・電柱が存在しない区間）の割合

※DID地区：市町村の区域内での人口密度4,000人/㎢以上の地区が互いに隣接して、その人口が、5,000人以上となる地区。人口集中地区。